

令和5年度事業実績

1 利用者の状況

(1) 施設区分・年度別利用者数

(単位：人)

| 年度 | 平成30 | 令和元 | 令和2 | 令和3 | 令和4 | 令和5 |
|-----------------------------------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|
| ホール（紅葉坂ホール）※1 | 122,060 | 95,272 | 18,866 | 37,897 | 0 | 59,654 |
| 多目的プラザ（スタジオHIKARI） | 26,328 | 21,313 | 7,574 | 13,416 | 13,694 | 20,523 |
| 練習室 | 20,844 | 13,540 | 4,360 | 7,887 | 4,806 | 11,839 |
| 科学体験室（厚木）※2 | 541 | 1,204 | 338 | 648 | 1,628 | 1,469 |
| 研修室 | 9,708 | 7,024 | 1,217 | 2,060 | 3,439 | 8,209 |
| 屋上（星空教室、高校生天文講座、天文研究クラブ） | 797 | 597 | 281 | 528 | 453 | 699 |
| 演劇資料室 | 2,988 | 2,445 | 1,129 | 1,566 | 1,627 | 1,627 |
| 子ども・若者総合相談センター・ひきこもり地域支援センター 面接相談 | 1,124 | 726 | 851 | 157 | 149 | 254 |
| 青少年サポートプラザ ※3 | 5,381 | 3,456 | 329 | 363 | 1,381 | 1,729 |
| （登録団体による研修室利用） | (359) | (95) | (3) | | | |
| 計 (a) | 189,771 | 145,577 | 34,179 | 64,522 | 27,177 | 106,003 |
| 県西部青少年サポート相談室面接相談 | 79 | 78 | 84 | 92 | 90 | 96 |
| 神奈川県地域青少年相談窓口面接相談 | 64 | 110 | 92 | 98 | 52 | 80 |
| 合計 | 189,914 | 145,765 | 34,355 | 64,712 | 27,319 | 106,179 |
| 学校、市役所、公民館、野外施設など当センター以外での事業参加者 | 9,347 | 7,483 | 1,070 | 1,070 | 2,424 | 3,208 |

※1 令和4年度は、ホール天井改修工事のため休館した。

※2 科学体験室は、平成30年10月に、科学部移転に伴い、厚木市に移転した。

人数は科学体験室での講座受講者数。

※3 平成26年3月末に別館の青少年サポートプラザを閉館し、本館に移設した。

(2) 施設利用者の内訳

| 児童・生徒 （小学生～高校生） | 一般 | 合計 |
|--------------------|--------|---------|
| 36,023 | 65,671 | 101,694 |

(注) 屋上、演劇資料室、面接相談、青少年サポートプラザ利用者及び他の施設利用者数は、生徒・一般の区分は設けていないため、内訳集計から除いている。

2 事業の実施状況

(1) 全館的事業

青少年センターの事業を円滑に運営するため庁舎諸施設の維持管理、人事、財産、予算経理等の管理事務及び県下に広く青少年センターの事業を周知するための広報活動事業を実施した。

ア 広報活動事業

(7) 行事紹介チラシの配布

青少年センターの行う事業を青少年・一般県民に広く周知し、利用促進を図るため、各課が作成した広報資料（印刷物）を同封し、全館広報として配布した。

「青少年センターのお知らせ」チラシ・ポスターについては、令和5年5月号、7月号、10月号、12月号を作成し配布した。

| 全館広報の配布月 | 配布先 |
|--------------------|---|
| 5月、7月、10月、12月(年4回) | 児童施設、図書館、小・中・高校、公共施設等、本庁、県出先機関、銀行、市町村、報道機関等 |

(4) フェイスブックを用いた情報の発信

近年のソーシャルメディアの普及に伴い、新たな媒体を活用した積極的な情報の発信を行うことで、従来の利用者のみならず、新たな利用者層を開拓することを目的に、フェイスブックページを開設した。

開設日 : 平成27年2月21日

アドレス : <https://www.facebook.com/kanagawa0230>

イ 青少年センター子どもフェスティバル

開催日 : 令和6年1月28日(日)

スローガン : やってみたい! が、きっと見つかる

入場者数 : 1,654人

*4年ぶりに申込不要、入退場自由、人数制限無で開催

(2) 青少年の体験学習を推進する人材の育成

人材の育成事業として、地域で青少年の支援・指導に関わる方や青少年行政・施設関係職員、そして青少年に関わる活動をしている若者を対象とした研修を実施した。研修にあたっては、自然体験、野外活動、環境学習等の多様な体験や群れ遊びの実践、そして仲間づくり・グループづくりに効果的なアイスブレイキングや様々なグループワークの体験、また、若者を対象とした研修では、実際に青少年センター事業である「子どもフェスティバル」や子どもキャンプの企画づくりをし、運営するなど、活動に必要な知識・技術を参加者自身が実践的・体験的に身につけ、参加する中で横のつながりを築くこともできる内容とした。

また、神奈川県青少年指導者養成協議会を運営し、県・市町村・青少年関係団体の連携を図るとともに、団体等への活動支援として協働での事業開催や講師派遣、青少年支援・指導者のための「子ども楽しむレシピミュージアム」を作成し、ホームページで公開した。

| 区分 | 事業名 | 概要 | 対象者 | 参加者 延べ数 |
|--------------------------|------------------------|--|-------------------------|------------|
| ア 青少年支援・指導者育成推進事業 | | | | |
| (7) 青少年支援・指導者の育成 | 青少年指導員セミナー | 地域県政総合センター等と共催で青少年指導員として地域で活動するための知識や技術を身につける。各地域の実状や要望に合わせたテーマを設定。(日帰り3回) | 青少年指導員 | 91人 |
| | 自然体験活動指導者セミナー | 県内のフィールドを活用し、安全で楽しい野外活動を展開するために必要とされる基礎的な知識や技術を学んだ。(日帰り2回+1泊2日1回) | 青少年支援・指導者、教員、学生等 | 44人 |
| | 体験学習プログラムセミナー | 子ども・若者のコミュニケーション能力や生き抜く力の向上をめざし、コミュニケーションの技法やアイスブレイキング等の多様な体験やワークショップを通して、青少年支援・指導者の総合的なスキルアップを図った。(日帰り6回) | 青少年支援・指導者、教員、学生等 | 117人 |
| | 人材育成推進事業「ステップアップキャラバン」 | 指導者育成課の研修受講生を対象に、市町村や協力団体の実施する事業に講師として派遣し、実際の現場での指導を通して、知識や技能のスキルアップをはかる機会を提供した。 | 青少年センター研修受講生 | 128人 |
| | リードアップセミナー | 新規青少年行政関係職員等を対象に、効果的な業務遂行に必要な基礎的な知識と技能の向上、お互いのネットワークづくりを図った。(日帰り2回+1泊2日1回) | 新転入青少年行政関係職員、青少年関係団体職員等 | 48人 |
| | フォローアップセミナー | 青少年行政等に関わる職員が効果的な業務の遂行に必要な能力の向上・知識技術の習得・ネットワーク化・情報交換の活発化を図った。(日帰り2回) | 青少年行政関係職員、青少年関係団体職員等 | 31人 |
| | 子ども施設指導員セミナー | 子ども施設(児童館等)の指導員向けに、子ども・若者が自ら成長するために必要な知識・技術の習得と能力の向上を図った。(日帰り7回) | 青少年育成施設及び類似施設の職員 | 200人 |

| 区分 | 事業名 | 概要 | 対象者 | 参加者 延べ数 |
|----------------------|---------------------|---|--|------------|
| | イベントボランティアセミナー | イベントの企画・運営方法を学び、実際に「青少年センター子ども体験広場」の企画・運営を体験することで、リーダーとしてのスキルアップを図り地域活動の活性化を目指した。(日帰り6回) | ジュニア・リーダーや子どもと関わりのある高校生から大学生年代までの若者 | 85人 |
| | キャンプ活動セミナー | レクリエーションや野外活動を通して、子どもとの人間関係づくりや子どもとの関わり方を学んだ。(日帰り1回+1泊2日1回) | 子どもと関わりのある又は関わろうとしている学生、子ども施設の職員等社会人(30歳未満) | 30人 |
| | 子どもキャンププロジェクト | 子ども対象のキャンプの企画・運営を体験し、子どもとの人間関係づくりや子どもとの関わり方を体験的に学んだ。(日帰り5回+1泊2日1回) | 子どもと関わりのある又は関わろうとしている学生、子ども施設の職員等社会人(30歳未満) | 84人 |
| | ユースボランティアセミナー | 地域で活動しているジュニア・リーダーや、青少年施設、子ども施設の職員等の社会人(30歳未満)を対象に、様々な体験を通して、野外活動、レクリエーション活動の知識や技術を習得し、地域や学校等で活躍できるボランティアの育成を図った。(日帰り1回、1泊2日1回) | 中学生以上のジュニア・リーダーや子どもと関わりのある又は関わろうとしている学生や社会人(30歳未満) | 18人 |
| | コミュニケーションスキルアップセミナー | 即興演劇の手法を使ってコミュニケーション能力や表現力の向上をはかる「インプロプログラム」を体験し、人間関係づくりや子どもとの関わり方を学んだ。(日帰り1回) | 子どもと関わりのある又は関わろうとしている中学生以上の若者 | 16人 |
| | インターンシップ、社会体験研修受入れ等 | 現職教員の社会体験研修を1人(延べ2回)、大学生の社会教育実習を1人(延べ7回)受け入れ、青少年支援・指導に通じた人材の育成を図った。 | 教職員、学生等 | 9人 |
| (イ) 青少年育成のための実践的調査研究 | 活動に役に立つマニュアル・手引作成 | 青少年活動に役立つマニュアル・手引を作成する。青少年の体験活動を支援する大人向け、初心者向けのWebページ「子どもと楽しむレシビュージウム」を作成した。 | — | — |

| 区分 | 事業名 | 概要 | 対象者 | 参加者 延べ数 |
|---|--|--|---------------------------------|------------|
| (ウ) 青少年 支援・指導 者、団体等 への支援 | 青少年資料室の 運営 | 青少年に関わる文献・資料・報告書等を整備して、青少年資料室を効率的に運営する。活動場所等についての情報を収集し、青少年支援・指導者及び青少年関係機関等への情報提供を図った。 | — | — |
| | 調査・ アンケート実施 | 全研修事業の終了時に行っているアンケートから事業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者の事後アンケート調査や取材調査により、当課研修事業で学んだことを、業務でどのように活用しているかについてまとめ、研修事業実施報告書に記載し青少年関係機関へ提供した。 | — | — |
| | 活動支援 | 青少年関係機関等からの依頼に応じて、場の提供、講師・指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導を随時行った。 | 青少年関係機関 | 464人 |
| (イ) 青少年 指導者養成 推進事業 | 青少年指導者養成 連携・調整(神 奈川県青少年指 導者養成協議会 事業) | 青少年支援・指導者の育成及び活動の効果的推進を図るとともに、県・市町村・青少年団体の連携強化を図った。 | 協議会関係者 | 147人 |
| | 青少年支援・指 導者活動状況調 査 | 各機関や団体が把握している青少年支援・指導者の活動状況について調査した。 | 県・市町村・青少年関係団体 | — |
| | 青少年支援・指 導者育成事業実 施結果及び計画 の調査 | 各機関や団体が把握している青少年支援・指導者育成事業の取り組み状況、次年度計画等について具体的に調査した。 | 県・市町村・青少年関係団体 | — |
| イ 地域活動推進事業 | | | | |
| (ア) 子ども 会大会 | 子ども会大会 | 子ども会活動の発展に資することを目的として県子ども会大会を開催した。(日帰り1回) | 子ども会関係者、一般 | 1,654人 |
| (イ) 元気な 子ども・若 者の地域活 動調査事業 | 元気な子ども・ 若者の地域活動 調査事業 | 人間関係の希薄化、地域力の低下、ライフスタイルの変化等に伴う、新たな課題に対応した子ども・若者に関わる地域活動について、先進的な事例を取材・調査し、その成果を広報誌「子ども会」を作成・3月に発行して広く周知した。また、指導者・育成者、リーダー層の研修事業等で活用した。 | ジュニア、シニア・リーダー等の高校生以上の若者 | 27人 |
| (ウ) 地域活 性化事業 (市町村・ 団体協働事 業) | 地域活性化事業 (市町村・団体 協働事業) | 地域で行っている青少年活動の活性化を図るために、団体と協働で研修を実施した。 「令和5年度鎌倉ジュニアリーダーズクラブ火起こしゲーム研修」 「4市1町ジュニアリーダー広域交流研修会」 | 子ども会指導者、子ども会役員、青少年指導員、ジュニア・リーダー | 36人 |

| 区分 | 事業名 | 概要 | 対象者 | 参加者 延べ数 |
|-----------------------|-------------------|---|------------------------|-------------|
| ウ 青少年行政総合推進事業 | | | | |
| (7) 中学生の主張 in かながわ | 中学生の主張 in かながわ | 次代を担う子どもたちが、広い視野と柔軟な発想や創造性をもとに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につけることを目的に、作文コンクールとその発表会を行った。 | 県内在住又は在学の中学生 | 応募者 745人 |
| (イ) 子ども・若者を理解するための講演会 | 子ども・若者を理解するための講演会 | 子ども・若者が直面する問題への理解を深め、地域や関係機関における取組みの促進を図るため講演会を開催した。 | 県民 | 52人 |
| (ウ) 困難事例における専門家の助言指導 | 困難事例における専門家の助言指導 | 電話あるいは来所相談における困難事例について、専門家である精神科医による助言指導を実施した。 | 当センター専門相談員、NPO法人等相談担当者 | 4回 |

各事業の内容は次のとおりである。

ア 青少年支援・指導者育成推進事業

(7) 青少年支援・指導者の育成

a 青少年指導員セミナー

テーマ「青少年指導員の役割と青少年との接し方」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|---------------------|--|------|
| 1 | 5月20日(土) 横須賀合同庁舎 | 青少年支援育成のためのコミュニケーションワークショップ 講師：川本 正秀 氏 (共育コーチング研究会) | 21人 |
| 2 | 5月21日(日) 海老名市役所 | アドベンチャー教育とは 講師：山路 歩 氏 (体験学習研究会 代表理事) | 21人 |
| 3 | 6月10日(土) 平塚合同庁舎 | 親業 (ゴードンメソッド) の考え方 講師：武石 泉 氏 (親業訓練協会・体験学習研究会・日能研) | 49人 |

b 自然体験活動指導者セミナー

① 野外活動編

テーマ「まるっと体験 キャンプのいろは」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|----------------------------------|--|------|
| 1 | 6月17日(土) 川崎市黒川青少年 野外活動センター | プログラム体験「コロナ禍でもできるアイスブレイキングゲーム」 「ドラム缶ピザづくり」「自然体験ゲーム」 「キャンプファイヤー体験」 講師：佐久間 純恵 氏 (Bring Out the Best) | 18人 |

② 秋編

テーマ「アクティビティ・ハーベスト 野遊び、みのりの秋」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|----------------------------------|---|------|
| 1 | 10月28日(土) ～29日(日) 足柄ふれあいの村 | プログラム体験「アイスブレイキング」「自然体験活動」 講義「体験活動の効果—自然体験活動を中心に—」 「指導体験準備」「指導体験」 講師：青木 雄司 氏 (日本自然保護協会) | 7人 |

③ 環境学習編

テーマ「プロジェクト・ワイルド エducーター養成講座」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|----------------------|---|------|
| 1 | 12月10日(日) 青少年センター | プログラム体験「プロジェクト・ワイルドの紹介」 「体験から学ぶ学習法」 「ステーション体験」「トンボ池」 「プログラムの組み立てと流れ」 講師：関 隆嗣 氏 (プロジェクト・ワイルドファシリテーター) | 19人 |

c 体験学習プログラムセミナー

① テーマ「すぐに役立つアイスブレイキング」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|----------------------|---|------|
| 1 | 7月23日(日) 青少年センター | プログラム体験「アイスブレイキングのアクティビティ体験」 担当：指導者育成課職員 | 22人 |
| 2 | 8月2日(水) 青少年センター | 実習「アイスブレイキングの指導体験」 担当：指導者育成課職員 | 18人 |
| 3 | 8月13日(日) プロミティあつぎ | 実習「アイスブレイキングの指導体験」 担当：指導者育成課職員 | 15人 |

② テーマ「みんなで解決！イニシアティブゲーム体験」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|---------------------|--|------|
| 1 | 7月29日(土) 青少年センター | プログラム体験「イニシアティブゲーム、チームビルディング体験」 担当：指導者育成課職員 | 18人 |

③ テーマ「グループワークの活用法」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|---------------------|---|------|
| 1 | 8月3日(木) 青少年センター | プログラム体験 「グループづくりや仲間づくりに役立つアクティビティの体験」 担当：指導者育成課職員 | 25人 |
| 2 | 8月16日(水) 青少年センター | プログラム体験 「グループづくりや仲間づくりに役立つアクティビティの体験」 担当：指導者育成課職員 | 19人 |

d 人材育成推進事業「ステップアップキャラバン」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|---|---|------|
| 1 | 6月17日(土) びわ青少年の家 | JLデイキャンプ 指導内容：野外炊事、レクゲーム | 17人 |
| 2 | 7月15日(土) ～16日(日) 川崎市黒川青少年 野外活動センター | 令和5年度ユースボランティアセミナー第2回 指導内容：アイスブレイキング、キャンプファイヤーの実施及びジュニア・リーダーに対する指導、並びに事業全体の進行の補助 | 11人 |
| 3 | 9月2日(土) 大和市スポーツ センター | 大和市かるた大会 指導内容：大和市かるた大会運営 | 35人 |
| 4 | 9月16日(土) 平塚市青少年会館 | 平塚市バルーンアート講習会 指導内容：ジュニア・リーダー等に対するバルーンアート技術指導 | 18人 |
| 5 | 10月29日(日) 茅ヶ崎市うみかぜ テラス | 4市1町ジュニアリーダー広域交流研修会 指導内容：アイスブレイキングや話し合いの指導 | 28人 |
| 6 | 2月18日(日) 横浜市青少年育成 センター | イベントが盛り上がる♪バルーンアート 指導内容：アイスブレイキング・バルーンアートの指導 | 19人 |

e リードアップセミナー

テーマ「新規青少年育成&行政職員対象研修 ファーストステージ」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|--|---|------|
| 1 | 5月12日(金) 青少年センター | 実習「アイスブレイキングのアクティビティ体験」 施策「かながわ青少年支援・指導者育成指針」の考え方 担当：指導者育成課職員 青少年育成の魅力学ぶ講義、やりがいに繋がるワークショップ 講師：北見 靖直 氏 (国立立山青少年自然の家 所長) | 20人 |
| 2 | 5月22日(月) ～23日(火) 神奈川県立 愛川ふれあいの村 | 実習「アイスブレイキングのアクティビティ体験」「チームビルディング体験」「ニュースポーツ体験」「火おこし・カレーづくり体験」 「ウォークラリー体験」「コッフェルクッキング体験」 担当：指導者育成課職員 | 12人 |
| 3 | 6月8日(木) 青少年センター | 事例発表①「こどもが創る遊びのまち『ミニヨコハマシティ』」 事例発表②「ほんとにあった育成の話『先輩職員から学ぶ、企画づくりや活動のヒント』」 ワークショップ「わたしが創りたい未来の事業」 担当：指導者育成課職員 講師：岩室 晶子 氏 (ミニシティ・プラス) 橋本 みなみ 氏 (同上) 加藤 耕太 氏 (茅ヶ崎市教育委員会) 川田 圭亮 氏 (葉山町教育委員会) | 16人 |

f フォローアップセミナー

テーマ「GROW-UPSKILLING～子ども・若者に伝わる戦略PR～」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|---------------------|--|------|
| 1 | 2月13日(火) 青少年センター | 講義・実習「子どもたちの心をつかむ－ワクワクするプレゼンのつくり方」 講師：藤井 祐剛 氏 (株式会社CALICO DESIGN代表取締役) | 13人 |
| 2 | 2月21日(水) 青少年センター | 講義・実習「事業企画にいかすマーケティングの手法」 講師：酒井 理 氏 (法政大学キャリアデザイン学部教授) | 18人 |

g 子ども施設指導員セミナー

① テーマ「つくって遊べる科学工作」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|------------------------|--|------|
| 1 | 6月29日(木)午前 プロミティあつぎ | 実習「科学工作および実験ショー」 講師：青少年センター科学部科学支援課職員 | 24人 |
| 2 | 6月29日(木)午後 プロミティあつぎ | | 13人 |
| 3 | 11月9日(木) 小田原合同庁舎 | | 21人 |

② テーマ「”気になる子”の理解と支援」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|--------------------------------|--------------------------------|------|
| 1 | 7月11日(火) 青少年センター | 講演「発達障害についての講演」 講師：初川 久美子 氏 | 45人 |
| 2 | 10月23日(月) 大和市市民交流拠点 ポラリス | | 63人 |

③ テーマ「あらちゃんとあそぼう！」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|------------------------------|-----------------------------|------|
| 1 | 9月8日(金) 門沢橋コミュニティ センター | 実習「様々なあそびの体験」 講師：荒牧 光子 氏 | 15人 |
| 2 | 12月15日(金) 横須賀市役所 | | 19人 |

h イベントボランティアセミナー

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|-----------|----------------------|---|------|
| 1 | 10月8日(日) 青少年センター | 実習「アイスブレイキング」(ユース・リーダー) 実習「企画会議①」 担当：指導者育成課職員 | 11人 |
| 2 | 11月12日(日) 青少年センター | 実習「企画会議②」 担当：指導者育成課職員 | 10人 |
| 3 | 12月9日(土) 青少年センター | 実習「企画会議③」 担当：指導者育成課職員 | 12人 |
| 4 | 1月14日(日) 青少年センター | 実習「企画会議④」 担当：指導者育成課職員、ホール運営課職員 | 13人 |
| 5 | 1月27日(土) 青少年センター | 実習「子どもフェスティバル前日準備・リハーサル」 担当：指導者育成課職員、ホール運営課職員 | 18人 |
| 6 (事業) | 1月28日(日) 青少年センター | 実習「子どもフェスティバル」 (ホール司会進行・ステージ発表、体験ブースの運営) 担当：指導者育成課職員、ホール運営課職員 | 21人 |

i キャンプ活動セミナー

テーマ「KANAGAWA NEXT Leaders Camp」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|--|---|------|
| 1 | 8月26日(土) 青少年センター | プログラム体験「アイスブレイキング」 「桜木町写真オリエンテーリング」 | 13人 |
| 2 | 9月1日(金) ～2日(土) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター | プログラム体験「アイスブレイキング」「チームビルディング」 実習「火起こし・野外炊事」「リポートレッキングの体験研修および 参加者の企画による交流会」 担当：指導者育成課職員 講師：中川 賢彦 氏、 近藤 義人 氏 | 17人 |

j 子どもキャンププロジェクト

テーマ(活動全体)「大学生向け 企画・運営ボランティア『子どもキャンププロジェクト』」

(宿泊事業)「やった！できた！を仲間と一緒に、

学生ボランティアと過ごす 冬の林間キャンプ」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|--------------------------------|---|------|
| 1 | 11月26日(日) 青少年センター | 実習「オリエンテーション」 「アイスブレイキング及び企画ミーティング」 担当：指導者育成課職員 | 13人 |
| 2 | 12月17日(日) 青少年センター | 実習「企画ミーティング」 担当：指導者育成課職員 | 8人 |
| 3 | 1月7日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター | 施設見学 実習「企画ミーティング」 担当：指導者育成課職員 | 10人 |

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|--|--|------|
| 4 | 2月11日(日) 青少年センター | 実習「企画ミーティング」 担当：指導者育成課職員 | 10人 |
| 5 | 2月23日(金) ～25日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター | 実習「子どもキャンプ前日準備・リハーサル」 実習「子どもキャンプ」(プログラムの進行、運営) 担当：指導者育成課職員 | 32人 |
| 6 | 3月2日(土) 青少年センター | 実習「ふりかえり」 担当：指導者育成課職員 | 11人 |

k ユースボランティアセミナー

テーマ(第1回)「ぼくらのオリジナルキャンプ 計画編」

(第2回)「ぼくらのオリジナルキャンプ 実践編」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|---|---|------|
| 1 | 6月11日(日) 青少年センター | 実習「アイスブレイキング」「参加者同士のグループワーク(第2回の企画の立案・検討・協議)」 担当：指導者育成課職員 | 7人 |
| 2 | 7月15日(土) ～16日(日) 川崎市黒川青少年 野外活動センター | 実習「アイスブレイキング」「自然体験活動」「グループワーク」「野外炊事」「キャンプファイヤー」「テント設営」 担当：指導者育成課職員 | 11人 |

l コミュニケーションスキルアップセミナー

テーマ「即興コミュニケーショントレーニング」

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|---------------------|---|------|
| 1 | 9月10日(日) 青少年センター | 講義・実習「コミュニケーションの手法に係る講義及びアクティビティ体験」 講師：峰松 佳代 氏、清水 千絵 氏 (株式会社インプロジャパン) | 16人 |

m インターンシップ、社会体験研修受入れ等

現職教員の5年経験者研修の一部を構成する、社会体験研修として1人(延べ2回)を受け入れた。また、県庁インターンシップとして1人(延べ7回)を受け入れた。

(イ) 青少年育成のための実践的調査研究

a 活動に役に立つマニュアル・手引作成

Web ページ「子どもと楽しむレシピミュージアム」の掲載

内 容 : 青少年の体験活動を支援する大人向け、初心者向けの Web ページ

配布先 : Web ページより PDF ファイルをダウンロード可

(ウ) 青少年支援・指導者、団体等への支援

a 青少年資料室の運営

青少年関係資料の整理・収集をし、青少年資料室にて提供した。

b 調査・アンケート実施

研修終了時に参加者を対象にアンケートを行い、その結果を含め事業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者の事後アンケート調査や取材調査により、研修後の活用についてまとめ、研修事業実施報告書により青少年関係機関へ提供した。

c 活動支援

場の提供、講師・指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導(随時)を随時行なった。

(令和5年度実績：電話等29件、来所相談等5件、職員派遣9件(14人)、講師紹介6件)

(I) 青少年指導者養成推進事業

a 青少年指導者養成連携・調整(神奈川県青少年指導者養成協議会事業)

(a) 総会

| 回数 | 実施日/場所 | 主な内容/講師 | 参加人数 |
|----|----------|--|------|
| 1 | 5月30日(火) | ○県・市町村・青少年関係団体等の青少年支援・指導者育成事業について ○令和4年度青少年指導者養成協議会事業実施結果について ○令和5年度青少年指導者養成協議会事業計画(案)について ○講演「居場所のもつチカラ」 講師：大槻 繁美 氏 (よこはまユース 業務執行理事・事務局次長) | 34人 |

(b) 常任委員会

| 回数 | 実施日/場所 | 主な内容 | 参加人数 |
|----|---------------------|--|------|
| 1 | 4月14日(金) 青少年センター | ○令和5年度総会について ○令和5年度専門部会について ○総会後の講演会について 他 | 12人 |
| 2 | 10月4日(水) 青少年センター | ○令和5年度専門部会について ○令和5年度青少年指導者養成協議会事業中間報告について ○第2回青少年支援・指導者育成事業担当者会議について ○第3回常任委員会について 他 | 10人 |
| 3 | 2月8日(木) 青少年センター | ○令和5年度専門部会について ○令和5年度青少年指導者養成協議会事業中間報告について 他 | 8人 |

(c) 専門部会

| 回数 | 実施日/場所 | 主な内容 | 参加人数 |
|----|--------------------|---------------------------|------|
| 1 | 5月2日(火) 青少年センター | ○成果物の内容について ○今後の予定について | 7人 |

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容 | 参加人数 |
|----|----------------------|--|------|
| 2 | 8月4日(金) 青少年センター | ○具体的な内容について ○役割分担について ○今後の予定について | 7人 |
| 3 | 12月19日(火) 青少年センター | ○進捗状況の確認 ○今後の予定について 他 | 7人 |

(d) 青少年支援・指導者育成事業担当者会議

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|----------------------|---|------|
| 1 | 4月19日(水) 小田原合同庁舎 | ○令和4年度事業実施結果及び令和5年度事業実施計画について ○専門部会成果物「自然体験活動 虎の巻」の活用について ○情報交換 | 8人 |
| | 4月21日(金) 厚木シティプラザ | | 11人 |
| | 4月25日(火) 青少年センター | | 6人 |
| | 4月27日(木) 平塚合同庁舎 | | 13人 |
| 2 | 11月7日(火) 青少年センター | ○講演「青少年が抱える課題～彼らが今、感じていること～」 講師：磯田 浩司 氏 (good!代表) ○情報交換 | 24人 |

b 青少年支援・指導者活動状況、青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

(a) 青少年支援・指導者活動状況の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者の活動状況を調査した。
(調査：9月)

(b) 青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者育成事業について、令和5年度の実施結果と令和6年度の事業計画を調査した。(調査：3月)

イ 地域活動推進事業

(7) 子ども会大会（青少年センター子どもフェスティバル）

県内の子ども会相互の交流と連帯を進め、これからの子ども会活動の発展と充実を図った。

日 時 : 1月28日(日)

会 場 : 青少年センター ホール (子どもフェスティバルは全館で実施)

(4) 元気な子ども・若者の地域活動調査事業

子ども会情報誌の編集会議

| 回数 | 実施日/場所 | 主な内容/講師 | 参加人数 |
|----|---------------------|---------------------------|------|
| 1 | 6月30日(金) 青少年センター | 企画「編集会議①」 担当: 指導者育成課職員 | 9人 |
| 2 | 11月15日(水) 書面開催 | 企画「編集会議②」 担当: 指導者育成課職員 | 9人 |
| 3 | 2月3日(土) 書面開催 | 企画「編集会議③」 担当: 指導者育成課職員 | 9人 |

子ども会情報誌の取材活動

| 回数 | 実施日/場所 | 主な内容/講師 | 参加人数 |
|----|--------|-------------|------|
| 1 | | 本年度の取材活動はなし | |

(ウ) 地域活性化事業（市町村・団体協働事業）

a 令和5年度鎌倉市ジュニアリーダーズクラブ火起こし・ゲーム研修

※鎌倉市青少年課との共催

| 回数 | 実施日/場所 | 主な内容/講師 | 参加人数 |
|----|------------------------------|---|------|
| 1 | 9月10日(日) 鎌倉青少年会館 (二階堂) | 野外炊事全般の基本的な技術指導、コミュニケーションを深めるアクティビティの進行支援 講師: 指導者育成課職員 | 10人 |

b 4市1町ジュニアリーダー広域交流研修会

※茅ヶ崎市、厚木市、伊勢原市、綾瀬市及び愛川町との共催

| 回数 | 実施日/場所 | 主な内容/講師 | 参加人数 |
|----|----------------------------------|---|------|
| 1 | 10月29日(日) 茅ヶ崎市公園体験センターうみかぜテラス | グループワーク及びコミュニケーションを深めるアクティビティの進行支援 講師: 土屋 虹平、花和 みづき、星 陽向、長嶋 美春 氏 (神奈川県子ども会連絡協議会 ユース・リーダー) | 26人 |

ウ 青少年行政総合推進事業

(7) 「中学生の主張 in かながわ」

神奈川県に在住または在学する中学生が、日常生活の中で考えていることを作文にして発表することを通して、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につけ、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を伸ばすことを目的とし、優秀作品の発表大会及び表彰式を開催した。

実施日：9月24日(日)

会場：青少年センター 多目的プラザ（スタジオHIKARI）

応募者数：745人

発表者数：7人

発表テーマ：

- (1) 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など
- (2) 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど
- (3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など

(4) 子ども・若者を理解するための講演会

子ども・若者が有する悩みや背景をテーマに、講演会等を開催した。

| 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|---------------------------|--|------|
| 11月11日（土） 青少年センター 研修室1 | 子どもが自分らしく生きるために～小児精神科医が語る親と子の自己肯定感～ 講師：古荘 純一 氏 (青山学院大学教育人間科学部教授) | 52人 |

(5) 困難事例における専門家の助言指導

電話又は来所相談における困難事例について、専門家である精神科医による助言指導を4回実施した。

実施日：7月13日（木）、9月14日（木）、11月14日（火）、2月15日（木）

3) ひきこもり、不登校や非行等への対応

不登校・ひきこもり・非行などで悩む子ども・若者についての相談、そのような子ども・若者を地域で様々な形でサポートするNPO等への支援、青少年の自立支援、フリースペース等を運営するNPO等が実施する相談活動に対する補助、さらに講演会やセミナーを通じて子ども・若者が有する問題への理解を啓発するなどの事業を行うとともに、ひきこもり支援における市町村機能強化事業に取り組んだ。

| 区分 | 事業名 | 概要 | 対象者 | 参加者数 |
|---|--|--|-----------------------|---|
| ア ひきこもり地域支援センター事業（子ども・若者総合相談事業を含む） | | | | |
| (7) 不登校・ひきこもり等相談関係事業 | かながわ子ども・若者総合相談センター及び神奈川県ひきこもり地域支援センターの運営 | 子ども・若者育成支援推進法に基づく「かながわ子ども・若者総合相談センター」と、厚生労働省の「ひきこもり支援センター設置運営事業」により設置した「神奈川県ひきこもり地域支援センター」を一体として運営し、ひきこもり、不登校、非行など多様な相談（電話・面接）に対応した。 | 県民 | 延2,592件 電話相談2,338件 面接相談254件 |
| | 地域相談事業（県西部青少年サポート相談室） | NPOと協働で県西部地域及びその他県域に相談窓口（電話・面接）を開設し、子ども・若者や家族等からの相談に応じた。 | 県民 | 延439件 電話相談343件 面接相談96件 |
| | 地域相談強化事業（神奈川県地域青少年相談窓口） | NPO相談・支援アドバイザーを派遣し、県域に相談窓口（電話・面接）を開設し、子ども・若者や家族等からの相談に応じた。 | 県民 | 延101件 電話相談21件 面接相談80件 |
| | 事例検討 | 週1回、相談員が全員で相談ケースの検討を行うほか、複雑、困難な相談ケースについて、臨床心理士等の専門職を加えた検討会を実施した。 | 相談員・NPO法人等の相談担当者等 | 毎週1回、 臨床心理士 年4回 （うち2回は県西部青少年サポート相談室） |
| | 職員研修 | 個人情報保護に関する法律の解釈、対応などを学ぶための研修を実施した。 | 青少年サポート課職員 | 12人 |
| | 相談員研修 | 県内で子ども・若者の相談支援を行う相談員を対象に相談技術の向上等のための研修を実施した。 | 相談機関職員・行政職員・NPO等職員・教員 | 3回実施 延119人 |
| | 地域相談会 | ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会や家族セミナーの開催とあわせて市町村から希望があった場合に個別相談会を開催。 | 県民 | — フォーラム・講演会、家族セミナーのみ実施。 |

| 区分 | 事業名 | 概要 | 対象者 | 参加者数 |
|------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------|-----------------------|
| (イ) 不登校・ひきこもり等NPO支援事業 | NPO等の活動に必要な場や機器の提供 (NPO支援スペース) | ひきこもり、不登校、非行等で悩む子ども・若者や家族のサポートに取り組むNPOや家族会等への活動支援として、打合せや活動等に利用できる場、軽印刷機・紙折り機等を利用できる場を提供した。 | 登録されている県内NPO等支援団体 | 延297団体 延1,729人 |
| | NPO運営支援情報の提供 | NPO相談・支援アドバイザーを配置し、NPOの立ち上げ、組織の運営や財務等に関する情報提供や相談を行った。 | 県民・NPO等職員 | 相談件数 0件 |
| | フリ・フリ・フェスタ | ひきこもり・不登校支援を行う団体による、実行委員会形式の交流イベント。 ひきこもり、不登校についての理解の普及、啓発を促進した。 | NPO等支援団体、県民 | 延1,075人 |
| | 舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業 | 不登校、ひきこもり等の困難を有する方を対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップを実施。 | ひきこもり当事者、行政職員 | 3回実施 延54人 |
| (ウ) 不登校・ひきこもり等啓発・研究事業 | ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会、家族セミナー | ひきこもりへの正しい理解・啓発を目的としたフォーラム・講演会や家族セミナー等を市町村と連携して開催。 | ひきこもりに関心のある県民 | イ(オ)参照 |
| | 相談窓口紹介カード作成・配布 | 県内の全小・中・高校生等にかがわ子ども・若者総合相談センターや総合教育センター、児童相談所等の相談窓口の電話番号等を掲載したカードを配布した。 | 県内の小・中・高校等に在籍する児童・生徒等 | 980,000枚 (発行枚数) |
| | ひきこもり相談窓口案内リーフレット等の配布 | 相談窓口を紹介するリーフレットを増刷し、配布した。 | 相談関係機関、事業に参加した県民 | 1,000枚 (増刷枚数) |
| | 関連情報の提供 | ひきこもり、不登校、非行等に悩む方々やそのサポート活動を行うNPO等に、相談や団体の活動状況等の情報を相談窓口、情報コーナー、ホームページ等で紹介、提供した。 | 県民、NPO等支援団体 | — |
| (エ) 地域理解促進事業 | ひきこもり等地域理解促進事業 | ひきこもり等の問題に取り組む団体の発展を促すため、または地域住民への理解・啓発を促すため、各地域で団体が自主的に取り組む研修会や講演会等の講師費用を支援した。 | NPO等支援団体 | 6団体 |
| イ ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業 | | | | |
| (ア) 多職種支援(専門)チーム | 連携会議、事例検討会議の実施及び助言 | 精神科医、弁護士、臨床心理士、社会福祉士を配置し、市町村等が対応している事案を連携会議やケース検討会議により検討し、市町村等に対して助言を行った。 | 市町村職員 | 精神科医 23回 弁護士12回 |

| 区分 | 事業名 | 概要 | 対象者 | 参加者数 |
|------------------------|-----------------------------------|---|---------------------------------------|---|
| (イ) 市町村等支援員 | 市町村等支援員による助言や相談対応 | 市町村等ひきこもり支援機関への後方支援のため、助言や相談対応等を行った。 | 市町村職員 | ひきこもり支援市町村連携会議 4回 巡回型居場所事業の実施 20回 延154人 |
| | (ウ) 訪問相談支援員 | 訪問相談支援員による訪問支援 | ひきこもりの長期化や高齢化等、困難ケースへの対応を含めた訪問支援を行った。 | 県民、市町村職員 アウトリーチの件数 20件 |
| (エ) ひきこもり支援に携わる人材の養成研修 | NPOスタッフ研修会 | NPOの日常活動や組織運営に必要な知識や技能を学び、日ごろの対応や悩み等を話し合える研修会を実施した。 | NPO等支援団体スタッフ等 | 8人 |
| | 不登校・ひきこもりの子ども・若者を支えるためのボランティア育成研修 | ひきこもり・不登校の支援活動に取り組む団体で活動してみたいという人等を対象に、基礎知識や、困難を有する若者への理解について等を学ぶ研修を実施した。 | 県民、NPO等支援団体スタッフ等 | 2回開催 延53人 |
| | 市町村向けピアサポーター研修 | 市町村と連携し、各地域にひきこもりピアサポーターを養成するための研修を行う。 (令和5年度は市町村からの開催希望がなく、実施せず。) | ひきこもり当事者、行政職員 | — |
| | 市町村ひきこもり支援新任担当者等勉強会 | 新たにひきこもり支援に関する業務に就く職員や経験の浅い職員を対象として勉強会を行った。 | 行政職員 | 12市町村22人 |
| (オ) ひきこもりサポート事業 | かながわbeフレンド（ひきこもり相談補助員）事業 | ひきこもり当事者等が、研修を受講した後、相談員の助言・指導のもと、面接に同席し、ひきこもりに悩む家族等の相談の補助、または地域において体験談を語るなどの啓発活動、ひきこもり当事者のための居場所のスタッフとして活動を行った。 ・打合せ及び研修 ・相談補助 ・ひきこもりを考える家族セミナー ・ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会 ・当事者のための居場所（20回開催）スタッフ | NPO団体等の推薦を受けた者 | 13人 研修4回 1人 延5人 延5人 延42人 |
| | ひきこもりを考える家族セミナー | ひきこもり当事者の家族支援としてひきこもりへの理解を図ることを目的としたセミナー等を実施した。 | ひきこもりの当事者を有する家族、関係支援者等 | 4回開催 延103人 |
| | ひきこもりを考える地域支援フォーラム | ひきこもりをテーマに経験者・家族・支援者等を講師とするフォーラム・講演会を開催した。 | 県民、関係支援者等 | 5回開催 延210人 |

| 区分 | 事業名 | 概要 | 対象者 | 参加者数 |
|------------------------|----------------------|--|--------------------------|----------------|
| | オーラム・講演会 | | | |
| | ひきこもり当事者のための居場所事業 | ひきこもり当事者のための居場所を地域巡回型で実施し、ひきこもり当事者の外出の機会を提供するとともに市町村にそのノウハウを提供した。 | ひきこもり当事者、市町村職員、関係支援者等 | 20回開催 延154人 |
| | ひきこもる家族を持つ親・きょうだいの集い | ひきこもり当事者の家族等を対象とし、同じような立場の参加者同士で近況を語り合ったり、情報交換したりする場を開催した。 | ひきこもり当事者の家族 | 2回開催 延36人 |
| | コミュニケーション講座 | 主に県や市町村、NPOの居場所等に参加している方を対象に、居場所のほかにも外出のきっかけとなるよう、セミナー型の居場所としてコミュニケーション講座を開催した。 | 居場所等に参加している方 | 3回開催 延24人 |
| (カ) ひきこもり支援市町村連携会議の開催 | ひきこもり支援市町村連携会議の開催 | ひきこもり支援を推進するための体制を構築することを目的に会議を開催し、先行事例の紹介や地域ブロックごとの意見交換などを行う。 | 市町村職員 | 会議4回実施 |
| ウ フリースペース等事業費補助 | | | | |
| | フリースペース等事業費補助 | 地域でフリースクール等を展開し、ひきこもり、不登校等に関する相談を受けるNPO等の活動を促進するため、相談事業を実施するNPO等支援団体に対して、補助金を交付した。 | フリースペース等を運営し、相談事業を行うNPO等 | 10団体 |

各事業の内容は次のとおりである。

ア ひきこもり地域支援センター事業

(7) 不登校・ひきこもり等相談関係事業

a かながわ子ども・若者総合相談センター、神奈川県ひきこもり地域支援センターの運営

かながわ子ども・若者総合相談センターと神奈川県ひきこもり地域支援センターを一体として運営し、青少年センター及びNPOと協働で開設した県西部青少年サポート相談室及び神奈川県地域青少年相談窓口において、子どもや若者、家族の相談に応じた。

○ 電話相談：延べ2,702件

(うち県西部青少年サポート相談室343件、神奈川県地域青少年相談窓口21件)

相談者の続柄

| | 本所 | 西部 | 地域 | 計 | % |
|-------|-------|-----|----|-------|-------|
| 本人 | 1,077 | 34 | 1 | 1,112 | 41.2% |
| 父 | 209 | 77 | 2 | 288 | 10.7% |
| 母 | 893 | 177 | 16 | 1,086 | 40.2% |
| その他親族 | 90 | 32 | 0 | 122 | 4.5% |
| 知人 | 15 | 0 | 0 | 15 | 0.6% |
| 関係機関 | 20 | 18 | 2 | 40 | 1.5% |
| その他 | 9 | 0 | 0 | 9 | 0.3% |
| 不明 | 25 | 5 | 0 | 30 | 1.1% |
| 計 | 2,338 | 343 | 21 | 2,702 | |

相談の内容

| | 本所 | 西部 | 地域 | 計 | % |
|-------|-------|-----|----|-------|-------|
| ひきこもり | 367 | 92 | 11 | 470 | 17.4% |
| 不登校 | 110 | 67 | 1 | 178 | 6.6% |
| 非行 | 20 | 55 | 0 | 75 | 2.8% |
| 精神保健 | 343 | 16 | 1 | 360 | 13.3% |
| 就労関係 | 249 | 19 | 7 | 275 | 10.2% |
| 学校関係 | 131 | 20 | 0 | 151 | 5.6% |
| 対人関係 | 200 | 5 | 0 | 205 | 7.6% |
| 家庭問題 | 345 | 10 | 1 | 356 | 13.2% |
| 発達障害等 | 27 | 25 | 0 | 52 | 1.9% |
| 児童福祉 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0.1% |
| 犯罪被害 | 5 | 2 | 0 | 7 | 0.3% |
| 健康問題 | 109 | 5 | 0 | 114 | 4.2% |
| 生活問題 | 360 | 20 | 0 | 380 | 14.1% |
| LGBT | 6 | 0 | 0 | 6 | 0.2% |
| その他 | 64 | 7 | 0 | 71 | 2.6% |
| 計 | 2,338 | 343 | 21 | 2,702 | |

相談対象者の内訳

| | 本所 | 西部 | 地域 | 計 | % |
|-------|-------|-----|----|-------|-------|
| 未就学児 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0.1% |
| 小学生 | 59 | 51 | 0 | 110 | 4.1% |
| 中学生 | 92 | 33 | 0 | 125 | 4.6% |
| 高校生 | 182 | 47 | 2 | 231 | 8.5% |
| 専門学校生 | 10 | 2 | 0 | 12 | 0.4% |
| 大学生 | 207 | 12 | 1 | 220 | 8.1% |
| 有職 | 591 | 30 | 0 | 621 | 23.0% |
| 無職 | 876 | 117 | 15 | 1,008 | 37.3% |
| その他 | 101 | 5 | 1 | 107 | 4.0% |
| 不明 | 219 | 45 | 2 | 266 | 9.8% |
| 計 | 2,338 | 343 | 21 | 2,702 | |

○ 面接相談：

延べ430件（うち県西部青少年サポート相談室96件、神奈川県地域青少年相談窓口80件）

実 123件（うち県西部青少年サポート相談室59件、神奈川県地域青少年相談窓口29件）

相談者の続柄

| | 本所 | 西部 | 地域 | 計 | % |
|-------|-----|----|----|-----|--------|
| 本人 | 89 | 15 | 25 | 129 | 30.0% |
| 父 | 24 | 6 | 3 | 33 | 7.7% |
| 母 | 60 | 44 | 41 | 145 | 33.7% |
| 父母等 | 79 | 12 | 10 | 101 | 23.5% |
| その他親族 | 1 | 19 | 1 | 21 | 4.9% |
| 知人 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0.2% |
| 関係機関 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 計 | 254 | 96 | 80 | 430 | 100.0% |

相談の内容

| | 本所 | 西部 | 地域 | 計 | % |
|-------|-----|----|----|-----|--------|
| ひきこもり | 102 | 16 | 30 | 148 | 34.4% |
| 不登校 | 52 | 36 | 2 | 90 | 20.9% |
| 非行 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 精神保健 | 1 | 2 | 1 | 4 | 0.9% |
| 就労関係 | 39 | 4 | 22 | 65 | 15.1% |
| 学校関係 | 5 | 8 | 0 | 13 | 3.0% |
| 対人関係 | 2 | 1 | 0 | 3 | 0.7% |
| 家庭問題 | 38 | 0 | 1 | 39 | 9.1% |
| 発達障害等 | 10 | 22 | 2 | 34 | 7.9% |
| 児童福祉 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 犯罪被害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 健康問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 生活問題 | 5 | 7 | 22 | 34 | 7.9% |
| LGBT | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 計 | 254 | 96 | 80 | 430 | 100.0% |

相談対象者の内訳

| | 本所 | 西部 | 地域 | 計 | % |
|-------|-----|----|----|-----|--------|
| 未就学児 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 小学生 | 1 | 20 | 2 | 23 | 5.3% |
| 中学生 | 9 | 18 | 0 | 27 | 6.3% |
| 高校生 | 42 | 30 | 0 | 72 | 16.7% |
| 専門学校生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 大学生 | 22 | 3 | 16 | 41 | 9.5% |
| 有職 | 44 | 3 | 12 | 59 | 13.7% |
| 無職 | 136 | 22 | 50 | 208 | 48.4% |
| 計 | 254 | 96 | 80 | 430 | 100.0% |

b 地域相談事業（県西部青少年サポート相談室）

県西部における相談の利便性を確保するため、NPOと協働して小田原市内に県西部青少年サポート相談室を開設した。

c 地域相談強化事業（神奈川県地域青少年相談窓口）

県域における相談の利便性を確保するため、NPO相談・支援アドバイザーを派遣し、横須賀三浦地域（葉山町内）及び湘南地域（寒川町内）、県央地域（厚木市内）に青少年相談窓口を開設した。

d 事例検討

相談事例の共有と適切な支援方法を検討するために、週に1回定例の検討会に加え、事例検討会を開催し、臨床心理士より助言を受けた。

e 職員研修

青少年サポート課の業務に必要な知識を習得するため、個人情報の保護に関する研修を実施した。

| 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|--------------------------------|--|------|
| 11月9日(木) 青少年センター NPO活動室1 | 「個人情報の保護に関する法律に関する基礎知識について」 講師：飛田 桂 (弁護士、飛田桂法律事務所所長) | 12人 |

f 相談員研修

県内で子ども・若者への相談支援を行う公的機関職員及び民間団体スタッフを対象に、相談技術の向上と子ども・若者にかかる問題の理解に焦点をあてた研修を実施した。

| 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|-----------------------------|---|------|
| 6月20日(火) 青少年センター 研修室1 | 「相談の基本 ～‘かかわり’の面接技法について学ぶ～」 講師：井上 夏子 氏 (神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科助教) | 38人 |
| 8月31日(木) 青少年センター 研修室1 | 「動機づけ面接」 ～「変わりたい」と「変わりにたくない」のバランス調整～ 講師：加濃 正人 氏 (医療法人社団祐和会大石クリニック) | 41人 |
| 2月16日(金) Zoom | 「相談員のバーンアウト予防と対策」 講師：土井 裕貴 氏 (日本福祉大学 教育・心理学部心理学科 講師) | 40人 |

(4) 不登校・ひきこもり等NPO支援事業

a NPOの活動に必要な場や機器の提供(NPO支援スペース)

会合や諸活動等に利用できる「活動室」、予約なしで打ち合わせ等が行える「オープンスペース」、軽印刷機や紙折り機等が使用できる「ワーキングコーナー」や関係情報を閲覧できる「情報コーナー」等を提供した。

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

| | 活 動 室 | 交流サロン・ オープン活動室 | ワーキング コ ー ナ ー | 情報コーナー・ オープンスペース | 研 修 室 | 計 |
|-------|-------|-------------------|------------------|---------------------|-------|--------|
| 団 体 数 | 246 | 5 | 36 | 10 | 0 | 297団体 |
| 人 数 | 1,608 | 11 | 38 | 72 | 0 | 1,729人 |

b NPO運営支援情報の提供

NPOの運営や財務に関して、NPOの立ち上げや運営等の経験があるNPO相談・支援アドバイザーが相談を受ける。令和5年度は相談がなかった。

c フリ・フリ・フェスタ

ひきこもり・不登校支援を行う団体による、実行委員会形式(事務局：青少年センター)の交流イベント。各団体を利用している当事者、保護者、支援者、関係者等が、主体的に参加し、楽しみながら作り上げており、多くの人に支援団体の活動を知ってもらうとともに、支援を必要としている人

が支援団体とつながる機会を提供するほか、団体や機関の交流や情報交換を行った。

d 舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業

不登校、ひきこもり等の問題を有する方を対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップを実施した。

| 実施日／場所 | 講師 | 参加人数 |
|---|--|------|
| 12月26日(火) 青少年センター 研修室1 ※支援に関わる職員向け | 講師： 河井 朗 氏 | 21人 |
| 1月19日(金) アミューあつぎ ミュージックルーム1 | アシスタント： 蒼乃 まを 氏 永井 茉梨奈 氏 (第1、2回のみ) | 15人 |
| 2月6日(火) 海老名市総合福祉会館 第1、2 娯楽室 | 中條 玲 氏 (第3回のみ) | 18人 |

(ウ) 不登校・ひきこもり等啓発・研究事業

a ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会、家族セミナー

ひきこもりへの正しい理解・啓発を目的としたフォーラム・講演会、家族セミナー等を市町村と連携して開催した。

b 相談窓口紹介カード作成・配布

県内の全小学生・中学生・高校生等に相談や支援に係る情報提供を行った。

発行部数：980,000部

c ひきこもり相談窓口紹介リーフレット等の配布

研修の参加者等に、相談窓口案内を紹介するリーフレットを増刷し、研修の参加者等に配布した。

増刷枚数：1,000枚

d 関連情報の提供

ひきこもりや不登校等の問題に取り組む県内NPO等の情報や、ひきこもり等関連の講演会等の情報を、青少年センターの相談窓口、情報コーナー、ホームページ等により紹介、提供した。

(エ) ひきこもり等地域理解促進事業

ひきこもり、不登校等に悩む子ども・若者を地域で支える団体の活性化や地域におけるひきこもり問題への理解を促進するため、団体が開催する講座等を青少年センターが共催し、併せて講師等の謝金を負担して、団体活動を支援した。

| 事業趣旨 (事業区分) | 実施団体名 | 内容 | 参加人数 |
|--------------------------|----------------------------------|--|------|
| 家族会等地域 団体活動促進 | ふわふわの会 | 9月24日(日) 「楽しみながら発達障がいを知ろう！」 講師：西村 珠江氏(一般社団法人星と虹色なこども たち認定「虹色発達サポーター」、一般社団法 人日本医療福祉教育コミュニケーション協会認 定「発達障害コミュニケーション指導者」) 会場：藤沢市役所分庁舎2階 地域福祉活動センター | 15人 |
| | すばる | 12月21日(木) 「ひきこもり 家族にできること ～ひきこもり経験者の立場から～」 講師：林 恭子氏(ひきこもり UX 会議) 会場：ひらつか市民活動センター | 56人 |
| | KHJ横浜ばらの会 | 2月11日(日) 「『ひきこもりを生きる』を支援する ～親と本人が傷つけあわないために必要なこと～」 講師：長谷川 俊雄氏(白梅学園大学名誉教授、 社会福祉士、精神保健福祉士) 会場：横浜市青少年育成センター | 67人 |
| ひきこもり等 地域支援団体 活動促進 | NPO法人フリース クール鈴蘭学園 | 11月23日(木) 「ひきこもりからの回復 ～人との関わりの大切さを考える～」 講師：雨宮 健一郎氏(NPO法人 文化学習協同ネッ トワーク相模原エリア事業統括、公認心理師) 会場：相模原市立大野北公民館 | 14人 |
| | NPO法人くじら ぐも | 12月16日(土) 「ひきこもりや障害のある子の『親なきあと』」 講師：渡部 伸氏(「親なきあと」相談室 主宰) 会場：横浜市健康福祉総合センター | 69人 |
| | NPO法人子どもと 共に歩むフリースペ ースたんぽぽ | 2月17日(土) 「子どもの心に寄り添って」 講師：西野 博之氏(認定NPO法人 フリースペース たまりば) 会場：鶴見中央地域ケアプラザ | 35人 |

イ ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業

(7) 多職種支援(専門)チーム

精神科医、弁護士、臨床心理士、社会福祉士を配置し、市町村等が対応している事案を連携会議やケース検討会議により検討し、市町村等に対して助言を行った。

- ・精神科医による検討会 23回
- ・弁護士による検討会 12回

(イ) 市町村等支援員

市町村等ひきこもり支援機関への後方支援のため、助言や相談対応、ひきこもり当事者のための居場所等を行った。

- ・市町村や関係機関などの訪問支援等 3回
- ・県内の既設の当事者会や親の会に係る情報提供
- ・ひきこもり支援市町村連携会議 4回
- ・当事者の居場所の企画・運営に係る助言
- ・近隣自治体間の連携に係る助言
- ・職員向けの研修や研さん機会に係る情報提供 他

(ウ) 訪問相談支援員

ひきこもりの長期化や高齢化等、困難ケースへの対応を含めた訪問支援を行った。

- ・アウトリーチ（自宅訪問のほか、家族会への参加や関係機関への同行等）20件

(イ) ひきこもり支援に携わる人材の養成研修

a NPOスタッフ研修会

不登校・ひきこもり等の青少年を支援するNPO等で活動するスタッフ等やボランティアが日常の活動や組織運営に役立つ知識や技能を修得し、日ごろの活動内容や悩み等を話し合い、情報交換や交流する機会としての研修会を開催した。

| 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|-----------------------|---|------|
| 11月15日（水） 神奈川県庁東庁舎 | 「メタバース居場所体験&交流会」 講師：青少年課担当職員、TOPPAN株式会社担当者 | 8人 |

b 不登校・ひきこもりの子ども・若者を支えるためのボランティア育成研修

ひきこもり・不登校の支援活動に取り組む団体で活動してみたいという人や、既に活動等を始めているが、子ども・若者への理解を深めたいという人を対象に、ひきこもり・不登校の基礎知識や、困難を有する若者への理解について学び、県内で活動する団体の取組や理念などを知り、ボランティアへの意欲を高める研修を実施した。

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容／講師 | 参加人数 |
|----|-------------------------------------|---|------|
| 1 | 1日目 10月14日（土） 青少年センター 活動室1 | ① ひきこもり・不登校概論 講師：福井 里江 氏 （東京学芸大学准教授） ② 困難を有する若者への理解 講師：島田 徳隆氏 （認定NPO法人アンガージュマン・よこすか 理事長） | 12人 |

| | | | |
|---|------------------------------------|--|-----|
| | | ③ 当事者の気持ちへの理解 講師：かながわbeフレンド、青少年サポート課職員 | |
| | 2日目 11月5日(日) 青少年センター 活動室1 | ④ 各団体の活動紹介 ・NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク ・NPO法人楠の木学園 ・フレンドリースペース金沢 ⑤ グループワーク・発表 | 8人 |
| 2 | 1日目 2月29日(木) 青少年センター 研修室2 | ① ひきこもり・不登校概論 講師：福井 里江 氏 (東京学芸大学准教授) ② 困難を有する子ども・若者への理解、関わり方 講師：千葉 志門 (認定NPO法人フリースペースたまりば、川崎市子ども夢 パーク副所長) ③ 当事者の気持ちへの理解 講師：かながわbeフレンド、青少年サポート課職員 | 18人 |
| | 2日目 3月13日(水) 青少年センター 研修室2 | ④ 各団体の活動紹介 ・NPO法人楠の木学園 ・NPO法人ぜんしん ・NPO法人フリースクール鈴蘭学園 ⑤ グループワーク・発表 | 15人 |

c 市町村ひきこもり支援新任担当者等勉強会

市町村で新たにひきこもり支援に関する業務に就く職員や経験の浅い職員を対象として勉強会を行った。

| 実施日等 | 内 容 | 参加人数 | |
|------------|--------------------------------|---------|--------------------|
| ① 5月11日(木) | ・ひきこもりに関する基礎知識 | ① 7市7人 | 合計 12市町村 22人 |
| ② 5月16日(火) | ・県ひきこもり地域支援センターの事業説明 | ② 6市町8人 | |
| ③ 5月17日(水) | ・ひきこもり疑似ケースに係る模擬面接 ・参加者意見交換 | ③ 5市7人 | |

場所：青少年センター活動室1

※1市から複数参加あり

(わ) ひきこもりサポート事業

a かながわbeフレンド（ひきこもり相談補助員）事業

かながわ子ども・若者総合相談センターのNPO相談・支援アドバイザーの所属する団体等より推薦を受け、養成研修を受講した13人を、かながわbeフレンドとして委嘱した。

面接相談における相談補助活動や、ひきこもりを考える家族セミナー等での講演のほか、ひきこもり当事者のための居場所事業において、スタッフとして活動を行った。

(a) 打合せ及び研修

| 回数 | 実施日／場所 | 主な内容・講師 | 参加人数 |
|----|---|---|------|
| 1 | 7月28日(金) (追加研修:8月2日、 9月6日) 青少年センター 研修室1 | 第一回打合せ及び研修 ・ かながわbeフレンド、NPO相談・支援アドバイザー、職員の自己紹介 ・ 令和5年度ひきこもり地域支援センター市町村等支援強化機能事業について ・ 令和5年度かながわbeフレンド活動について ・ 動画を視聴し、ひきこもりの理解と回復へのプロセスを学ぶ。 ・ かながわbeフレンドで昨年体験した活動報告 グループワーク 「わたしがこれまで出会って元気をくれた人」 | 13人 |
| 2 | 10月27日(金) 青少年センター 研修室1 | 第二回打合せ及び研修 ・ 令和5年度ひきこもり地域支援センター市町村等支援強化機能事業についての進捗報告 ・ 第一回研修振り返り ・ 大井町共催事業報告 グループワーク 『他己紹介』ペアを組んだ相手を周囲の人達に紹介する。自己開示の研修。 | 7人 |
| 3 | 1月17日(水) 青少年センター 研修室1 | 第三回打合せ及び研修 ・ 令和5年度 be フレンドの活動、居場所や家族会について ・ 第二回研修の振り返り ・ 活動状況報告 【研修テーマ】 「みんなで一緒に協力し作り上げる」 【研修内容】 ・ ジェスチャーゲーム ・ グループトーク 「ひきこもり当事者向けのセミナーについて考えよう」 ※懇親会(フリートーク) | 5人 |
| 4 | 3月22日(金) 青少年センター 研修室1・2 | 第四回打合せ ・ 令和5年度beフレンドの活動、居場所や家族セミナーについて ・ 第三回beフレンド研修振り返り ・ 市町村等共催事業の報告 参加したbeフレンドから報告 面接及び研修 ・ beフレンド参加者をAグループとBグループに分け、アドバイザー及び職員と面接、グループワーク研修「テーマのしりとりゲーム」(制限された中でのしりとり。)を実施。 | 11人 |

(b) 相談補助

相談者の希望に応じて、相談員、NPO相談・支援アドバイザー同席のもと面接相談に入り、自身の体験などを相談者に伝えることにより、ひきこもりに対して家族が理解を深め、当事者への対応について考えるための一助とした。

- ・相談補助（当事者宅訪問） 1回 1人

(c) ひきこもりを考える家族セミナー

ひきこもり当事者の家族等を対象に、自身の経験を語るほか意見交換などを行った。

- ・3回 延べ5人参加

(d) ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会

ひきこもりへの理解を深めるため、県民等を対象に、自身の経験を語る講演会を行った。

- ・3回 延べ5人参加

(e) ひきこもり当事者のための居場所スタッフ

ひきこもり当事者のための居場所の開催に際し、ひきこもり経験のあるスタッフとして運営に参加した。

- ・20回 延べ42人参加

(f) ひきこもる家族を持つ親・きょうだいの集い

ひきこもり当事者の家族のための会の開催に際し、ひきこもり経験のあるスタッフとして運営に参加した。

- ・2回 延べ4人参加

b ひきこもりを考える家族セミナー

市町村等との協働により、ひきこもりに関する知識・情報を提供し、家族の焦燥感の軽減や、当事者への関わり方の変化を期待するため、家族セミナーを開催した。

| 実施日等 | 内容 | 参加人数 |
|-------------------------------------|--|------|
| 11月20日（月） 大和市地域医療センター （大和市主催） | 「こもりびと家族の集い」 講師：守田 洋氏（NPO相談・支援アドバイザー）、 かながわbeフレンド2人 | 23人 |
| 11月29日（水） 県立青少年センター 研修室1 | 「ひきこもり当事者とよりよい関係性を築くために家族・支援者が できること」 講師：石井 正宏氏（特定非営利活動法人パノラマ理事長）、 | 67人 |
| 12月12日（火） 大和市地域医療センター （大和市主催） | 「こもりびとの集い」 講師：守田 洋氏（NPO相談・支援アドバイザー）、 かながわbeフレンド2人 | 7人 |

| | | |
|---------------------------------|---|----|
| 1月16日（火） 横須賀市保健所 （横須賀市主催） | 「ひきこもり講演会～ひきこもり経験者の立場から～」(家族向け) 講師：和田 正宏氏（NPO相談・支援アドバイザー）、 かながわbeフレンド1人 | 6人 |
|---------------------------------|---|----|

c ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会

ひきこもりへの理解を深めるため、市町村と連携し、県民等を対象にひきこもりをテーマに経験者・家族・支援者等を講師とするフォーラム・講演会を開催した。

| 実施日等 | 内 容 | 参加人数 |
|---|--|------|
| 7月11日（火） 大井町保健福祉センター （大井町主催） | 「ひきこもりの理解と支援について」（講演会） 講師：割田 大悟 氏 （ひき桜in横浜代表） かながわbeフレンド1人 | 40人 |
| 8月15日（火） 逗子市役所・オンライン （逗子市主催・ 青少年センター共催） | 「ひきこもりの理解と支援について」（講演会） 講師：長谷川 俊雄 氏 （白梅学園大学名誉教授、social work lab MIRAI代表、 NPO法人つながる会 代表理事） | 30人 |
| 11月22日（水） 伊勢原市立中央公民館 （伊勢原市主催） | 「子ども・若者のひきこもりを知る ～理解と支援～」 講師：和田 正宏氏（NPO相談・支援アドバイザー）、 かながわbeフレンド2人 | 37人 |
| 2月27日（火） 鎌倉市福祉センター （鎌倉市主催） | 「ひきこもり講演会～ひきこもりについて知ろう～」 講師：和田 正宏氏（NPO相談・支援アドバイザー）、 かながわbeフレンド2人 | 41人 |
| 3月30日（土） おだわら市民 交流センターUMECO （小田原市主催、 青少年センター共催） | 「ひきこもりの理解と支援～一方的な克服や解決をしない、いっしょに歩む～」（講演会） 講師：長谷川 俊雄氏（白梅学園大学名誉教授、social work lab MIRAI代表、NPO法人つながる会 代表理事） | 62人 |

d ひきこもり当事者のための居場所事業

ひきこもり当事者のための居場所を市町村巡回型で実施し、ひきこもり当事者の外出の機会を提供するとともに、市町村にそのノウハウを提供した。また、今年度新たに、孤独・孤立を感じる女性を対象に、前半は作品作りを後半はグループトークを行う居場所を開催した。

| 実施日 | 開催市町村 | 実施場所 | 参加人数 |
|----------|-------|-------------------|------|
| 4月26日（水） | 横浜市 | 青少年センター | 6人 |
| 5月24日（水） | 横浜市 | 青少年センター | 7人 |
| 6月1日（木） | 厚木市 | アミューあつぎ | 1人 |
| 6月29日（木） | 海老名市 | ViNA GARDEN PERCH | 10人 |
| 7月12日（水） | 平塚市 | 平塚市青少年会館 | 4人 |
| 7月26日（水） | 葉山町 | 葉山町福祉文化会館 | 2人 |
| 8月9日（水） | 横浜市 | 青少年センター | 11人 |

| | | | |
|---------------------|------|-------------------|-----|
| 8月23日(水) | 横須賀市 | ウエルシティ市民プラザ | 5人 |
| 9月15日(金) (女性対象) | 横浜市 | 青少年センター | 12人 |
| 9月22日(金) | 藤沢市 | 藤沢市役所本庁舎 | 11人 |
| 10月12日(木) | 伊勢原市 | 伊勢原シティプラザ | 6人 |
| 11月7日(火) | 逗子市 | 逗子市福祉会館 | 7人 |
| 11月24日(金) | 海老名市 | 海老名市総合福祉会館 | 16人 |
| 12月5日(火) | 綾瀬市 | 綾瀬市保健福祉プラザ | 2人 |
| 12月22日(金) (女性対象) | 横浜市 | 青少年センター | 17人 |
| 1月9日(火) | 秦野市 | 秦野市保健福祉センター | 3人 |
| 1月31日(水) | 小田原市 | おだわら市民交流センターUMECO | 8人 |
| 2月14日(水) (女性対象) | 海老名市 | 海老名市総合福祉会館 | 9人 |
| 2月21日(水) | 南足柄市 | 南足柄市りんどう会館 | 6人 |
| 3月8日(金) | 横浜市 | 青少年センター | 11人 |

e ひきこもる家族を持つ親・きょうだいの集い

ひきこもり当事者の家族等を対象とし、同じような立場の参加者同士で近況を語り合ったり、情報交換したりする場を開催した。

| 実施日 | 開催市町村 | 実施場所 | 参加人数 |
|-----------|-------|------------|------|
| 9月22日(金) | 藤沢市 | 藤沢市役所本庁舎 | 19人 |
| 10月24日(火) | 海老名市 | 海老名市総合福祉会館 | 17人 |

f コミュニケーション講座

主に県や市町村、NPOの居場所等に参加している方を対象に、居場所のほかにも外出のきっかけとなるよう、セミナー型の居場所としてコミュニケーション講座を開催した。

| 回 | 実施日/場所 | 主な内容/講師 | 参加人数 |
|-----|--------------------------------|--|------|
| 第1回 | 1月20日(土) 青少年センター 楽屋7 | テーマ:聴き上手・対話上手 NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク代表 水谷 裕子 氏 | 4人 |
| 第2回 | 2月17日(土) 青少年センター NPO活動室1 | テーマ:受止め上手・「ととのう」上手 おおるりカウンセリングルーム代表 菅 瑠夏 氏 | 9人 |
| 第3回 | 3月2日(土) 青少年センター | テーマ:お願い上手・断り上手 神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション | 11人 |

| | | | |
|--|---------|------------------|--|
| | NPO活動室1 | 研究科教授 吉田 穂波 氏 | |
|--|---------|------------------|--|

(オ) ひきこもり支援市町村連携会議の開催

ひきこもり支援を推進するための体制を構築することを目的に会議を開催し、地域ブロックごとの市町村で意見交換を行うほか、臨床心理士による困難事例の検討会、ひきこもり当事者の講演会の傍聴等。

a 会議の開催

| 実施日等 | 内 容 | 参加人数 |
|---|--|--------------|
| 6月28日(水)横須賀・三浦 6月30日(金)湘南東部+西部 7月5日(水)県央 7月7日(金)県西 | ・神奈川県ひきこもり支援市町村連携会議について ・ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業について ・出席者相互の意見交換 | 22市町村 33人 |
| 10月5日(木) 県立青少年センター (対面+オンライン) | ・ひきこもりケースに係る事例研究会 スーパーバイザー:根本頭 氏(臨床心理士) | 16市町村 27人 |
| 2月27日(火) 鎌倉市福祉センター | ・鎌倉市ひきこもり講演会聴講 NPO 相談支援アドバイザー 和田正宏 氏 かながわbeフレンド 2名 登壇 | 9市町村 11人 |
| 3月12日(火) 県立青少年センター (対面+オンライン) | ・神奈川県ひきこもり地域支援センターの令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画について ・市町村におけるひきこもり関連事業令和5年度事業結果及び令和6年度事業計画について | 17市町村 27人 |

b 市町村ひきこもり支援新任担当者等勉強会 (再掲)

市町村で新たにひきこもり支援に関する業務に就く職員や経験の浅い職員を対象として勉強会を行った。

| 実施日等 | 内 容 | 参加人数 | |
|-----------|--------------------------------|--------|--------------------|
| ①5月11日(木) | ・ひきこもりに関する基礎知識 | ①7市7人 | 合計 12市町村 22人 |
| ②5月16日(火) | ・県ひきこもり地域支援センターの事業説明 | ②6市町8人 | |
| ③5月17日(水) | ・ひきこもり疑似ケースに係る模擬面接 ・参加者意見交換 | ③5市7人 | |

場所：青少年センター活動室1

※1市から複数参加あり

ウ フリースペース等事業費補助

フリースペース、フリースクール等を運営するNPO等が実施するひきこもり等青少年やその家族を

対象とした相談活動に支援を行った。

| | |
|---------|------|
| 補助対象団体数 | 10団体 |
|---------|------|

- NPO法人くじらぐも
- NPO法人教育支援協会南関東（フリースペースみなみ）
- NPO法人楠の木学園
- NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク
- NPO法人教育活動総合サポートセンター
- NPO法人フリースクール鈴蘭学園
- NPO法人アンガージュマン・よこすか
- フレンドリースペース金沢
- NPO法人くだかけ会
- NPO法人子どもと共に歩むフリースペースたんぼぼ

(4) 青少年の科学体験活動の促進支援

青少年センターおよび県内地域において、科学体験やものづくりの講座、科学体験イベント、作品展や研究発表等を実施し、科学活動普及・啓発に努めた。あわせて、科学技術系人材育成事業として、キャリアプログラム等による青少年の人材育成、科学体験指導者の育成や教員研修事業を実施した。科学情報発信事業として、ホームページでの資料提供等を実施した。

※ 参加者数はすべて延べ人数

| 区分 | 事業名 | 概要 | 参加者 | 参加者数 |
|------------------------|------------------------|---|----------|-----------------------|
| ア 科学活動普及・啓発事業 | | | | |
| (7) 青少年科学活動啓発事業 | 子どもサイエンスフェスティバル | 科学の不思議や楽しさを実感できる実験や科学工作ブースによる科学講座を、県内4か所で開催し、子どもたちの科学体験の場を提供した。(横浜大会はロボフェスタ2023と兼ねているため、ロボフェスタの人数で算出) | 青少年一般 | 1,807人 |
| | 青少年のための科学の祭典2023 神奈川大会 | 小学生・中学生向けに、科学の不思議さや楽しさを実感できる実験・科学工作を行うブースによるイベントを開催し、青少年への科学の普及に寄与した。 | 青少年一般 | 739人 |
| | 星空教室 | 月と惑星、月食、星団等を天体望遠鏡で観察する教室を、13回予定したが、雨天のため2回中止、11回実施した。 | 小学生以上 | 624人 |
| | 科学講演会 | 青少年科学体験活動推進協議会総会にあわせて予定実施した。 | 青少年一般 | 34人 |
| | 日本学生科学賞 神奈川県作品展 | 県内中学生・高校生の研究作品コンクールの神奈川大会を支援し、出展数 129 点で、作品展を6日間開催した。 | 青少年一般 | 450人 |
| | 神奈川県高等学校総合文化祭理科部研究発表大会 | 神奈川県高等学校文化連盟加盟の理科部による研究発表会の開催を支援した。15 団体発表。 | 青少年一般 | 109人 |
| | 神奈川県工業高等学校生徒研究発表会 | 神奈川県立工業高等学校の生徒研究発表会の開催を支援した。12 団体発表。 | 青少年一般 | 167人 |
| (イ) 青少年科学体験支援事業 | かながわりレー科学教室 | 移動科学講座として、おもしろ実験・科学工作教室を5か所6回開催した。 | 小学生 保護者等 | 351人 (内小学生 180人) |
| | 依頼団体科学教室 | 学校や公民館等からの依頼により、実験ショー、科学工作教室等を県内各所で 12 回実施した。(子どもフェスティバルを含む) | 小学生 保護者等 | 1,256人 (内小学生 732人) |

| 区分 | 事業名 | 概要 | 参加者 | 参加者数 |
|--------------------|--------------|---|------------------------|---------------------|
| | ロボットプログラム | 自律型ロボットのプログラミングから機構について課題解決型で学習する講座として3つのテーマで計22回実施した。 | 小学生 中学生 保護者等 | 493人 (内小中学生259人) |
| | 自然観察会 | 動植物や地形の自然観察方法を学ぶとともに、環境保護施設等の見学を県内4か所で、実施した。 | 小学生以上 | 70人 |
| | 科学体験教室 | 身近に起こる科学現象のしくみや性質を、体験しながら学ぶ講座を21回実施した。 | 小学生 (一部中学生) 保護者等 | 575人 (内小中学生298人) |
| | 子ども施設指導員セミナー | 指導者育成課の事業協力として科学工作、簡単な科学実験等を紹介する講座を3回実施した | 一般 | 58人 |
| | その他(共催事業) | ロボットゆうえんちとの共催でROBO-ONE、ROBO-剣を各1回、日本技術士会との共催で理科教室他を3回、神奈川工科大学と共催でロボットプログラムスペシャルを1回開催した。 | 青少年 一般 | 955人 |
| (ウ)ものづくり子どもサイエンス事業 | プチロボで競走しよう | 走行型プチロボットを自作し、コースを走行させて競走する講座を、県内11か所で実施した。 | 小学3～6年生 保護者等 | 520人 (内小学生240人) |

イ 科学技術系人材育成事業

| | | | | |
|-----------------|--------------------|--|-----------------|---|
| (7) 青少年科学人材育成事業 | 小学生科学研究クラブ | 自分でテーマを決めて研究し、発表までを行うクラブ活動を1講座5回実施した。 | 小学4～6年生 保護者等 | 74人 (内小学生36人) |
| | 子ども科学探検隊 | 県内の科学館・研究施設・大学等において、科学の不思議・ものづくりの感動を体験・見学する講座を18回実施した。 | 小学3～6年生 | 458人 (内小学生223人) |
| | 中高生サイエンスキャリアプログラム | 県内科学館・大学・研究施設を訪問し、施設見学や研究者・技術者との交流を通して、科学への関心を高め技術者・研究者としての職業観を育成する講座を15回実施した。 | 中学生・高校生 一般 | 254人 (内中高生158人) |
| | 高校生天文講座 | 天文施設見学も交えて、天体観測の基礎から最新観測法までを学ぶ講座を1講座11回実施した。 | 高校生 | 受講人数 6人 (延51人) 修了証5人 |
| | 高校生科学ボランティア | 青少年センター科学体験事業にボランティアスタッフとして参加する生徒募集を行った。開講式後、ボランティア活動開始した。年度末には活動証明書の発行を行った。 | 高校生 | 77人登録 延51講座 延194人 活動証明書 77人 |
| (イ) 科学体験指導者育成事業 | おもしろ実験・科学工作指導者セミナー | 子どもたちに科学実験・科学工作を指導できる指導者を育成するため、5日間の講座を2コース(水曜コース、日曜コース)開催した。 | 一般 | 受講人数 16人 (延75人) |

| 区分 | 事業名 | 概要 | 参加者 | 参加者数 |
|------------------------|-------------------------|--|---------------|---------------------|
| | | | | 修了証14人 |
| | 天文研究クラブ | 高校生天文講座の修了者や一般の方を対象に、天体写真や画像処理についての講座を6回実施した。 | 高校生以上 ～ 一般 | 28人 |
| (ウ) 理科教育 人材育成 事業 | 教員研修科学講座 | 総合教育センターとの連携により、教員を対象に、3講座を実施した。 | 教職員 | 39人 |
| | 依頼型教員研修講座 | 市町村の教育委員会等から依頼により1回実施した。 | 教職員 | 18人 |
| | 小学校教員養成課程学生対象講座（大学連携事業） | 小学校教員養成課程を持つ大学との連携事業として、理科実験に関する講座を2講座開講した。 | 大学生 | 16人 |
| | インターンシップ、社会体験研修受入れ等 | 社会体験研修として大学生2人（5日間）、高校生4人（3日間）受け入れた。 | 大学生 高校生 | 2人 4人 |
| ウ 科学活動情報発信事業 | | | | |
| (ア) 科学情報発信 | 科学情報発信 | ホームページによる科学関係の情報を提供した。 | 一般 | HPアクセス回数 30,568件 |
| (イ) 科学相談 | 科学相談 | 科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談、体験室利用に対応した。 | 小学生以上 ～ 一般 | 26件 57人 |
| エ 先端科学連携体験事業 | | | | |
| (ア) 先端科学企業等体験（カナラボ） | 先端科学企業等体験（カナラボ） | 企業や大学などから講師を招き、講義と実習を通して、先端科学技術に触れる講座を、3回実施した。 | 高校生 | 21人 |
| (イ) 青少年のためのロボフェスタ2023 | 青少年のためのロボフェスタ2023 | 「さがみロボット産業特区」関連事業との位置づけで、企業・研究機関・大学・高校等によるブースの出演によりロボットの楽しさを体験してもらう祭典を開催した。（子どもサイエンスフェスティバル横浜大会と兼ねるため、人数は一部再掲） | 青少年 一般 | 1,158人 |

各事業の内容は次のとおりである。

ア 科学活動普及・啓発事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起するため、イベント系啓発事業や体験講座を企画・運営・実施した。また、青少年による作品展や研究発表会を支援した。

(7) 青少年科学活動啓発事業

a 子どもサイエンスフェスティバル（主催：子どもサイエンスフェスティバル実行委員会）

| 回数 | 実施日 | 会場 | | 参加人数 |
|----|-----------|-----|-------------------------------------|--------|
| 1 | 11月23日(木) | 横浜 | 青少年センター（紅葉ヶ丘）（ロボフェスタ2023兼子どもSF横浜大会） | 1,158人 |
| 2 | 12月23日(土) | 厚木 | あつぎ市民交流プラザ | 176人 |
| 3 | 1月13日(土) | 平塚 | 平塚市青少年会館 | 231人 |
| 4 | 2月3日(土) | 相模原 | 相模原市立青少年学習センター | 242人 |

（出展者、アシスタント含む）

b 青少年のための科学の祭典2023神奈川大会

（共催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会）

| 実施日 | 会場 | 参加人数 |
|----------|--------------------|------|
| 8月13日(日) | 神奈川県立青少年センター（紅葉ヶ丘） | 739人 |

c 星空教室（定員各44名）新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を削減した

※青少年センター工事のため4月～9月の実施

| 回数 | 実施日 | 内容 | 参加人数 |
|----|-----------|-------------------|------|
| 1 | 4月29日(土) | 月齢9の月と金星、火星 | 35人 |
| 2 | 5月27日(土) | 月齢8の月と金星、春の二重星 | 60人 |
| 3 | 6月24日(土) | 月齢6の月と金星、春の散開星団 | 42人 |
| 4 | 7月29日(土) | 月齢12の月と水星、夏の大三角 | 80人 |
| 5 | 8月24日(木) | 上弦の月と土星 | 57人 |
| 6 | 8月26日(土) | 月齢10の月と土星 | 72人 |
| 7 | 9月23日(土) | 上弦の月と土星 | 雨天中止 |
| 8 | 10月21日(土) | 月齢7の月と土星、海王星 | 63人 |
| 9 | 11月25日(土) | 月齢12の月と木星、土星 | 46人 |
| 10 | 12月16日(土) | 月齢3の月と木星、土星、天王星 | 49人 |
| 11 | 1月20日(土) | 月齢9の月と木星、オリオン座大星雲 | 雨天中止 |

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 |
|----|----------|----------|------|
| 12 | 2月17日(土) | 上弦の月と木星 | 49人 |
| 13 | 3月16日(土) | 月齢6の月と木星 | 71人 |

(アシスタントスタッフ延べ20人含む)

d 科学講演会

「横浜の星空、相模原の星屑～神奈川で宇宙に触れる～」

講師：矢野 創 氏

(JAXA宇宙科学研究所・学際科学研究系 助教)

※青少年科学体験活動推進協議会総会にあわせて実施した。

| 実施日 | 会 場 | 参加人数 |
|---------|----------------------|------|
| 3月1日(金) | 多目的プラザ (スタジオ HIKARI) | 34人 |

e 日本学生科学賞神奈川県作品展

| 期 間 | 内 容 |
|---------------------------------|---|
| 10月11日(水)～17日(火) 初日、月曜を除く5日間 | 出展数129点 見学者総数450人 県知事賞2点、教育長賞2点、館長賞1点、他特別賞5点、学校賞1点、入賞25点 |

f 神奈川県高等学校総合文化祭理科部研究発表大会

| 期 間 | 内 容 |
|----------|------------------------------------|
| 11月5日(日) | 発表15 団体10 参加者総数109人 (高校生76人、一般33人) |

(前日準備6人含む)

g 神奈川県工業高等学校生徒研究発表会

| 実施日 | 会 場 | 参加人数 |
|----------|----------------------|------|
| 1月17日(水) | 神奈川総合産業高等学校 (発表12団体) | 167人 |

(イ) 青少年科学体験支援事業

a かながわりレー科学教室 (おもしろ実験・科学工作教室)

| 回数 | 実施日 | 会 場 | | 参加人数 |
|----|----------|-----|-------------|------|
| 1 | 6月3日(土) | 厚 木 | 青少年センター科学部 | 46人 |
| 2 | 6月25日(日) | 海老名 | 海老名市文化会館 | 70人 |
| 3 | 7月16日(日) | 川 崎 | かわさき宙と緑の科学館 | 52人 |
| 4 | 8月6日(日) | 藤 沢 | 善行公民館 | 70人 |

| 回数 | 実施日 | 会 場 | | 参加人数 |
|----|-----------|-----|------------|-----------|
| 5 | 9月16日(土) | 秦 野 | 秦野市立大根公民館 | 65人 |
| 6 | 11月26日(日) | 開 成 | 開成町民センター | 会場都合により中止 |
| 7 | 1月21日(日) | 厚 木 | 青少年センター科学部 | 48人 |

(指導者セミナー修了者延べ18人、高校生科学ボランティア延べ9人含む)

b 依頼団体科学教室

| 回数 | 実施日 | 会 場 (内 容) | 参加人数 |
|----|-----------|---------------------------|------|
| 1 | 5月5日(金) | 午前 厚木子ども科学館 (子ども科学館まつり) | 24人 |
| 2 | 5月5日(金) | 午後 厚木子ども科学館 (子ども科学館まつり) | 24人 |
| 3 | 6月10日(土) | 綾瀬市役所 (綾瀬市子ども会育成連絡協議会) | 32人 |
| 4 | 7月19日(水) | 大和市立林間小学校 (寺子屋やまと) | 249人 |
| 5 | 8月5日(土) | 座間市公民館 | 26人 |
| 6 | 9月29日(土) | 荏田北幼保連携認定こども園 (星空教室) | 70人 |
| 7 | 10月20日(金) | 座間市青少年センター (星空教室) | 30人 |
| 8 | 12月3日(日) | 厚木市子ども科学館 (サイエンスウィンター) | 197人 |
| 9 | 12月9日(土) | 大和市教育研究所 (大和冬のおもしろ科学館) | 202人 |
| 10 | 12月21日(木) | 希望ヶ丘高等学校 (星空教室) | 29人 |
| 11 | 1月28日(日) | 青少年センター (子どもフェスティバル) | 360人 |
| 12 | 2月25日(日) | たまプラーザ地域ケアプラザ (ロボットプログラム) | 13人 |

c ロボットプログラム

(a) ロボットプログラム 小学生ジュニアの部 (小1～3) 【ロボにお買い物させよう】

| 回数 | 実施日 | 会 場 | 参加人数 | |
|----|---------|---------------------------|------|-----|
| | | | 小学生 | その他 |
| 1 | 9月3日(日) | 青少年センター 科学部 (10:00～12:00) | 15人 | 17人 |
| 2 | 9月3日(日) | 青少年センター 科学部 (13:30～15:30) | 14人 | 16人 |

(高校生科学ボランティア延べ8人含む)

(b) ロボットプログラム 小学生の部 (小3～6) 【ロボにお買い物をさせよう】

| 回数 | 実施日 | 会 場 | 参加人数 | |
|----|----------|--------------------------|------|-----|
| | | | 小学生 | その他 |
| 1 | 6月18日(日) | 青少年センター科学部 (10:00～12:00) | 16人 | 9人 |
| 2 | 6月18日(日) | 青少年センター科学部 (13:30～15:30) | 16人 | 16人 |
| 3 | 8月27日(日) | 青少年センター科学部 (10:00～12:00) | 12人 | 12人 |
| 4 | 8月27日(日) | 青少年センター科学部 (13:30～15:30) | 9人 | 12人 |
| 5 | 3月10日(日) | 青少年センター科学部 (10:00～12:00) | 13人 | 5人 |
| 6 | 3月10日(日) | 青少年センター科学部 (13:30～15:30) | 16人 | 13人 |

(高校生科学ボランティア延べ6人含む)

(c) ロボットプログラム 小学生の部 (小3～6) 【対決! ロボットバトル】

| 回数 | 実施日 | 会 場 | 参加人数 | |
|----|-----------|--------------------------|------|-----|
| | | | 小学生 | その他 |
| 1 | 7月15日(土) | 青少年センター科学部 (10:00～12:00) | 11人 | 12人 |
| 2 | 7月15日(土) | 青少年センター科学部 (13:30～15:30) | 12人 | 14人 |
| 3 | 11月11日(土) | 青少年センター科学部 (10:00～12:00) | 11人 | 16人 |
| 4 | 11月11日(土) | 青少年センター科学部 (13:30～15:30) | 12人 | 6人 |
| 5 | 1月27日(土) | 青少年センター科学部 (10:00～12:00) | 10人 | 7人 |
| 6 | 1月27日(土) | 青少年センター科学部 (13:30～15:30) | 10人 | 8人 |

(高校生科学ボランティア延べ10人含む)

(d) ロボットプログラム 小学生の部 (小3～6) 【迷路を脱出しよう】

| 回数 | 実施日 | 会 場 | 参加人数 | |
|----|----------|------------------------------|------|-----|
| | | | 小学生 | その他 |
| 1 | 7月9日(日) | 青少年センター (紅葉ヶ丘) (10:00～12:00) | 10人 | 12人 |
| 2 | 7月9日(日) | 青少年センター (紅葉ヶ丘) (13:30～15:30) | 9人 | 9人 |
| 3 | 9月10日(日) | 青少年センター (紅葉ヶ丘) (10:00～12:00) | 7人 | 10人 |
| 4 | 2月23日(金) | 青少年センター (紅葉ヶ丘) (10:00～12:00) | 11人 | 10人 |
| 5 | 2月23日(金) | 青少年センター (紅葉ヶ丘) (13:30～15:30) | 11人 | 7人 |

(高校生科学ボランティア延べ1人含む)

(e) ロボットプログラム 中学生の部 【ロボにお買い物をさせよう】

| 回数 | 実施日 | 会 場 | 参加人数 | |
|----|----------|---------------------------|------|-----|
| | | | 中学生 | その他 |
| 1 | 6月24日(土) | 青少年センター 科学部 (13:30~15:30) | 8人 | 7人 |

(f) ロボットプログラム 中学生の部 【対決！ロボットバトル】

| 回数 | 実施日 | 会 場 | 参加人数 | |
|----|---------|---------------------------|------|-----|
| | | | 中学生 | その他 |
| 1 | 8月3日(木) | 青少年センター 科学部 (13:30~15:30) | 16人 | 6人 |

(高校生科学ボランティア延べ2人含む)

(g) ロボットプログラム 中学生の部 【迷路を脱出しよう】

| 回数 | 実施日 | 会 場 | 参加人数 | |
|----|----------|------------------------------|------|-----|
| | | | 中学生 | その他 |
| 1 | 9月10日(日) | 青少年センター (紅葉ヶ丘) (13:30~15:30) | 10人 | 10人 |

(高校生科学ボランティア延べ1人含む)

d 自然観察会

| 回数 | 実施日 | 会 場 | 内 容 | 参加人数 |
|----|-----------|-------------|--------------|------|
| 1 | 7月2日(日) | 天神島(横須賀市) | 磯の生き物や地層の観察 | 25人 |
| 2 | 9月9日(土) | 鶴見川流域センター周辺 | 川魚の観察、遊水地の学習 | 25人 |
| 3 | 10月21日(土) | 県立座間谷戸山公園 | どんぐり採集、分類・工作 | 9人 |
| 4 | 12月2日(土) | 鶴見川流域センター周辺 | 野鳥観察、遊水地の学習 | 11人 |

e 科学体験教室 対象：小学生（*一部中学生）

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 |
|----|----------|--------------|------|
| 1 | 5月3日(祝) | 午前 春の科学まつり | 44人 |
| 2 | 5月3日(祝) | 午後 春の科学まつり | 39人 |
| 3 | 7月23日(日) | 午前 音と光のふしぎ | 50人 |
| 4 | 7月23日(日) | 午後 音と光のふしぎ | 39人 |
| 5 | 7月26日(水) | 午前 顕微鏡で観察しよう | 17人 |

| | | | |
|----|-----------|-----------------------------|-----|
| 6 | 7月26日(水) | 午後 顕微鏡で観察しよう | 20人 |
| 7 | 8月16日(水) | 午前 電子オルゴールをつくろう(電子工作)* | 19人 |
| 8 | 8月16日(水) | 午後 電子オルゴールをつくろう(電子工作)* | 19人 |
| 9 | 8月18日(金) | スマートボールをつくろう* | 16人 |
| 10 | 8月23日(水) | 界面活性剤を学ぼう* | 9人 |
| 11 | 9月23日(土) | 色の化学実験* | 33人 |
| 12 | 10月7日(土) | 海の小さな生き物でつくる標本* | 21人 |
| 13 | 11月3日(金) | 午前 ロケットをつくろう | 24人 |
| 14 | 11月3日(金) | 午後 ロケットをつくろう | 24人 |
| 15 | 11月18日(土) | 午前 電気と磁石のふしぎ | 38人 |
| 16 | 11月18日(土) | 午後 電気と磁石のふしぎ | 35人 |
| 17 | 12月10日(日) | クリスマスリースをつくろう | 37人 |
| 18 | 1月14日(日) | 午前 ウインドカーをつくろう | 24人 |
| 19 | 1月14日(日) | 午後 ウインドカーをつくろう | 16人 |
| 20 | 2月11日(日) | 午前 モータープロペラカーをつくろう(電気回路の工作) | 26人 |
| 21 | 2月11日(日) | 午後 モータープロペラカーをつくろう(電気回路の工作) | 25人 |

(高校生科学ボランティア延べ48人含む)

f 子ども施設指導員セミナー(指導者育成課事業の一部)

| 回数 | 実施日 | 会場 | 参加人数 |
|----|----------|---------------|------|
| 1 | 6月29日(木) | 午前 青少年センター科学部 | 24人 |
| 2 | 6月29日(木) | 午後 青少年センター科学部 | 13人 |
| 3 | 2月22日(水) | 小田原合同庁舎 | 21人 |

g その他（共催事業）

| 回数 | 実施日 | 会 場（内 容） | 参加人数 |
|----|----------------------|---|------|
| 1 | 7月15日（土） | 青少年センター紅葉ヶ丘（ROBO-ONE カンファレンス） | 30人 |
| 2 | 7月16日（日） | 青少年センター紅葉ヶ丘（ROBO-ONE プレ大会） | 37人 |
| 3 | 9月23日（土） 9月24日（日） | 青少年センター紅葉ヶ丘（ROBO-ONE） | 670人 |
| 4 | 11月23日（木） | 青少年センター紅葉ヶ丘（ROBO-剣） | 160人 |
| 5 | 7月29日（土） | 青少年センター紅葉ヶ丘（日本技術士会 夏休み理科教室） | 13人 |
| 6 | 8月20日（日） | 青少年センター科学部（日本技術士会 夏休み理科教室） | 10人 |
| 7 | 9月16日（土） | 青少年センター紅葉ヶ丘（日本技術士会 サイエンスカフェ） | 15人 |
| 8 | 10月14日（土） | 青少年センター科学部 （神奈川工科大学ロボットプログラムスペシャル講座） | 20人 |

(ウ) ものづくり子どもサイエンス事業

ものづくり関係講座、ロボット関連事業を提供した。

a ブチロボで競走しよう大会

| 回数 | 実施日 | 会 場 | | 参加人数 | |
|----|----------|-----|-------------------|------|-----|
| | | | | 小学生 | その他 |
| 1 | 7月22日（土） | 大井 | 大井町生涯学習センター | 22人 | 21人 |
| 2 | 7月27日（木） | 小田原 | 小田原市生涯学習センターけやき | 23人 | 28人 |
| 3 | 7月30日（日） | 湯河原 | 湯河原町防災コミュニティセンター | 24人 | 28人 |
| 4 | 8月8日（火） | 二宮 | 二宮町立生涯学習センターラディアン | 24人 | 25人 |
| 5 | 8月24日（木） | 伊勢原 | 伊勢原市立子ども科学館 | 14人 | 18人 |
| 6 | 9月2日（土） | 茅ヶ崎 | 茅ヶ崎市青少年会館 | 24人 | 29人 |
| 7 | 9月17日（日） | 秦野 | 秦野市立大根公民館 | 21人 | 24人 |
| 8 | 10月1日（日） | 厚木 | 青少年センター科学部 | 23人 | 26人 |
| 9 | 10月8日（日） | 座間 | 座間市立青少年センター | 21人 | 27人 |
| 10 | 12月2日（土） | 大和 | 桜丘学習センター | 22人 | 23人 |
| 11 | 1月20日（土） | 横浜 | 青少年センター（紅葉ヶ丘） | 22人 | 31人 |

（指導者セミナー修了者延べ41人、高校生科学ボランティア延べ33人含む）

イ 科学技術系人材育成事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起し、次世代の科学技術を担う人材の育成や、科学体験活動指導者の育成事業を実施した。

(7) 青少年科学人材育成事業

a 小学生科学研究クラブ(1コース6回、定員12名)

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 | |
|----|----------|-------------------|------|-----|
| | | | 小学生 | その他 |
| 1 | 7月8日(土) | オリエンテーション、研究テーマ決定 | 7人 | 8人 |
| 2 | 7月25日(火) | 研究活動 | 7人 | 6人 |
| 3 | 8月4日(金) | 研究活動 | 8人 | 6人 |
| 4 | 8月9日(水) | 研究活動 | 8人 | 7人 |
| 5 | 8月19日(土) | 研究発表会 | 6人 | 11人 |

b 子ども科学探検隊(主催:神奈川県青少年科学体験活動推進協議会)

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 | |
|----|----------|--------------|------|-----|
| | | | 小中学生 | その他 |
| 1 | 6月24日(土) | 鎌倉女子大学 児童学科 | 14人 | 14人 |
| 2 | 7月25日(火) | 青山学院大学 理工学部 | 8人 | 10人 |
| 3 | 7月29日(土) | 鶴見大学 | 10人 | 9人 |
| 4 | 8月1日(火) | 横浜市立野毛山動物園 | 7人 | 0人 |
| 5 | 8月3日(木) | 横須賀市自然・人文博物館 | 13人 | 10人 |
| 6 | 8月5日(土) | 鎌倉女子大学 教育学科① | 14人 | 22人 |
| 7 | 8月15日(火) | 東芝未来科学館 | 20人 | 23人 |
| 8 | 8月19日(土) | 神奈川工科大学 | 9人 | 18人 |
| 9 | 8月22日(火) | 北里大学 | 15人 | 21人 |
| 10 | 8月23日(水) | 神奈川県環境科学センター | 16人 | 11人 |
| 11 | 8月24日(木) | 鎌倉女子大学 教育学科② | 11人 | 8人 |
| 12 | 8月25日(金) | 湘南工科大学 | 11人 | 12人 |

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 | |
|----|----------|----------------------------------|------|-----|
| | | | 小中学生 | その他 |
| 13 | 8月26日(土) | 日本技術士会 神奈川県支部 (会場 青少年センター科学部) | 10人 | 15人 |
| 14 | 8月27日(日) | 東海大学 | 28人 | 40人 |
| 15 | 9月2日(土) | 東京都市大学 横浜キャンパス | 8人 | 10人 |
| 16 | 9月16日(土) | 横浜市立金沢動物園 | 11人 | 2人 |
| | 9月23日(土) | 麻布大学 | 7人 | 0人 |
| | 9月30日(土) | 伊勢原市立子ども科学館 | 11人 | 10人 |

c 中高生サイエンスキャリアプログラム

| 回数 | 実施日 | 訪問施設 | 参加人数 | |
|----|----------|----------------------------------|------|--------------|
| | | | 中高学生 | 保護者 (含弟妹) |
| 1 | 7月22日(土) | 日本技術士会 神奈川県支部 (会場 青少年センター科学部) | 13人 | 4人 |
| 2 | 7月23日(日) | 午前 北里大学 | 10人 | 8人 |
| 3 | 7月23日(日) | 午後 北里大学 | 12人 | 7人 |
| 4 | 7月25日(火) | 東芝未来科学館 | 23人 | 11人 |
| 5 | 7月28日(金) | 株式会社ミットヨ ミットヨ測定博物館 | 7人 | 0人 |
| 6 | 7月29日(土) | 青山学院大学 社会情報学部 | 13人 | 5人 |
| 7 | 8月1日(火) | 神奈川県温泉地学研究所 | 7人 | 6人 |
| 8 | 8月3日(木) | サーモフィッシャーサイエンティフィック ジャパングループ | 11人 | 0人 |
| 9 | 8月4日(金) | 横須賀市自然・人文博物館 | 6人 | 3人 |
| 10 | 8月6日(日) | 湘南工科大学 | 18人 | 14人 |
| 11 | 8月8日(火) | 東海大学 | 15人 | 15人 |
| 12 | 8月17日(木) | 産業技術短期大学校 | 7人 | 4人 |
| 13 | 8月19日(土) | 神奈川工科大学 | 7人 | 5人 |
| 14 | 8月22日(火) | 東京都市大学 | 5人 | 9人 |

| 回数 | 実施日 | 訪問施設 | 参加人数 | |
|----|----------|----------------|---------|--------------|
| | | | 中高学生 | 保護者 (含弟妹) |
| 15 | 8月24日(木) | 鎌倉女子大学 子ども心理学科 | 応募0人で中止 | |
| 16 | 8月25日(金) | 鎌倉女子大学 教育学科 | 4人 | 5人 |
| 17 | 9月9日(金) | 鎌倉女子大学 管理栄養学科 | 応募0人で中止 | |

d 高校生天文講座(1コース11回、定員15人)

| 回数 | 実施日 | 内容 | 参加人数 |
|----|-----------|-------------------------|------|
| 1 | 7月22日(土) | 開講式とガイダンス、天体望遠鏡の使い方Ⅰ | 6人 |
| 2 | 8月10日(木) | 天体望遠鏡の使い方Ⅱ | 6人 |
| 3 | 8月19日(土) | 天体観測法Ⅰ | 5人 |
| 4 | 9月16日(土) | 天体観測法Ⅱ | 3人 |
| 5 | 10月7日(土) | 天体観測法Ⅲ | 2人 |
| 6 | 10月28日(土) | 天体観測法Ⅳ | 5人 |
| 7 | 11月11日(土) | 天体観測法Ⅴ | 5人 |
| 8 | 11月18日(土) | 施設見学(かわさき宙と緑の科学館・国立天文台) | 5人 |
| 9 | 12月23日(土) | 画像処理講座Ⅰ | 4人 |
| 10 | 1月13日(土) | 画像処理講座Ⅱ、振り返り会の資料作成 | 5人 |
| 11 | 2月12日(月) | 振り返り会、修了式(修了5人) | 5人 |

e 高校生科学ボランティア(登録77人 延べ51講座 194人活動 活動証明書発行77人)

| 実施日 | 内容 | 参加人数 |
|------------------------|----------------------|------|
| 6月11日(日), 17(土) 他3回 | オリエンテーション | 77人 |
| 1 7月15日(土) | ロボットプログラム 午前 講座補助 | 3人 |
| 2 7月15日(土) | ロボットプログラム 午後 講座補助 | 3人 |
| 3 7月16日(日) | かながわりレー科学教室(川崎) 講座補助 | 3人 |
| 4 7月22日(土) | プチロボ(大井) 講座補助 | 4人 |
| 5 7月23日(日) | 音と光のふしぎ 午前 講座補助 | 5人 |
| 6 7月23日(日) | 音と光のふしぎ 午後 講座補助 | 5人 |

| 実施日 | | 内 容 | 参加人数 |
|-----|----------|------------------------------|------|
| 7 | 7月26日(土) | 顕微鏡で観察しよう 午前 講座補助 | 3人 |
| 8 | 7月26日(土) | 顕微鏡で観察しよう 午後 講座補助 | 3人 |
| 9 | 7月27日(木) | プチロボ(小田原) 講座補助 | 4人 |
| 10 | 7月30日(日) | プチロボ(湯河原) 講座補助 | 3人 |
| 11 | 8月3日(木) | ロボットプログラム 講座補助 | 2人 |
| 12 | 8月6日(日) | かながわりレー科学教室(藤沢) 講座補助 | 2人 |
| 13 | 8月8日(火) | プチロボ(二宮) 講座補助 | 2人 |
| 14 | 8月12日(土) | 青少年のための科学の祭典2023神奈川大会 前日準備補助 | 13人 |
| 15 | 8月13日(日) | 青少年のための科学の祭典2023神奈川大会 運営補助 | 25人 |
| 16 | 8月16日(水) | 電子オルゴールをつくろう 午前 講座補助 | 3人 |
| 17 | 8月16日(水) | 電子オルゴールをつくろう 午後 講座補助 | 3人 |
| 18 | 8月18日(金) | スマートボールをつくろう 講座補助 | 3人 |
| 19 | 8月23日(水) | 界面活性剤を学ぼう 講座補助 | 2人 |
| 20 | 8月24日(木) | プチロボ(伊勢原) 講座補助 | 4人 |
| 21 | 8月27日(日) | ロボットプログラム 午前 講座補助 | 3人 |
| 22 | 8月27日(日) | ロボットプログラム 午後 講座補助 | 3人 |
| 23 | 9月2日(土) | プチロボ(茅ヶ崎) 講座補助 | 5人 |
| 24 | 9月3日(日) | ロボットプログラム 午前 講座補助 | 4人 |
| 25 | 9月3日(日) | ロボットプログラム 午後 講座補助 | 4人 |
| 26 | 9月10日(日) | ロボットプログラム 午前 講座補助 | 1人 |
| 27 | 9月10日(日) | ロボットプログラム 午後 講座補助 | 1人 |
| 28 | 9月16日(土) | かながわりレー科学教室(秦野) 講座補助 | 3人 |
| 29 | 9月17日(日) | プチロボ(秦野) 講座補助 | 1人 |
| 30 | 9月23日(土) | 色の化学実験 講座補助 | 1人 |
| 31 | 10月1日(日) | プチロボ(厚木) 講座補助 | 3人 |
| 32 | 10月7日(土) | 海の小さな生き物でつくる標本 講座補助 | 3人 |
| 33 | 10月8日(日) | プチロボ(座間) 講座補助 | 3人 |
| 34 | 11月3日(金) | ロケットをつくろう 午前 講座補助 | 3人 |
| 35 | 11月3日(金) | ロケットをつくろう 午後 講座補助 | 3人 |

| 実施日 | | 内 容 | 参加人数 |
|-----|-----------|---------------------------|------|
| 36 | 11月11日(土) | ロボットプログラム 午前 講座補助 | 1人 |
| 37 | 11月11日(土) | ロボットプログラム 午後 講座補助 | 1人 |
| 38 | 11月18日(土) | 電気と磁石の不思議 午前 講座補助 | 2人 |
| 39 | 11月18日(土) | 電気と磁石の不思議 午後 講座補助 | 2人 |
| 40 | 11月23日(木) | 青少年のためのロボフェスタ2023 運営補助 | 17人 |
| 41 | 12月9日(土) | 大和市冬のおもしろ科学館 講座補助 | 3人 |
| 42 | 12月10日(日) | クリスマスリースをつくろう 講座補助 | 3人 |
| 43 | 12月23日(土) | 子どもサイエンスフェスティバル(厚木) 運営補助 | 7人 |
| 44 | 1月13日(土) | 子どもサイエンスフェスティバル(平塚) 運営補助 | 6人 |
| 45 | 1月14日(日) | ウインドカーをつくろう 午前 講座補助 | 2人 |
| 46 | 1月14日(日) | ウインドカーをつくろう 午後 講座補助 | 2人 |
| 47 | 1月20日(土) | プチロボ(横浜) 講座補助 | 4人 |
| 48 | 1月21日(日) | かながわりレー科学教室(厚木②) 講座補助 | 1人 |
| 49 | 1月27日(土) | ロボットプログラム 午前 講座補助 | 1人 |
| 50 | 1月27日(土) | ロボットプログラム 午後 講座補助 | 1人 |
| 51 | 2月3日(土) | 子どもサイエンスフェスティバル(相模原) 運営補助 | 5人 |

(イ) 科学体験指導者育成事業

a おもしろ実験・科学工作指導者セミナー(各コース定員15人、5日間)

| 回数 | 水曜日コース | 日曜日コース | 内 容 | 参加人数 |
|----|-----------|-----------|-----------------------|------|
| 1 | 10月4日(水) | 10月8日(日) | 開講式、科学工作ワークショップ | 16人 |
| 2 | 10月11日(水) | 10月15日(日) | おもしろ実験ショーの練習 | 16人 |
| 3 | 10月18日(水) | 10月22日(日) | おもしろ実験ショーの練習 プチロボ紹介 | 16人 |
| 4 | 10月25日(水) | 10月29日(日) | 講義:「実験を安全に行うために」、発表練習 | 15人 |
| 5 | 11月1日(水) | 11月12日(日) | 発表、修了式 | 12人 |

修了者 14人

b 天文研究クラブ（年間6回、定員15人）

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 |
|----|----------|------------------------|------|
| 1 | 5月13日(土) | 天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等 | 4人 |
| 2 | 7月15日(土) | 天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等 | 4人 |
| 3 | 9月9日(土) | 天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等 | 6人 |
| 4 | 11月4日(土) | 天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等 | 5人 |
| 5 | 1月13日(土) | 天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等 | 4人 |
| 6 | 3月23日(土) | 天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等 | 5人 |

(ウ) 理科教育人材育成事業

a 教員研修科学講座（総合教育センター連携研修講座）

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 |
|----|----------|---------------------|------|
| 1 | 7月28日(金) | 顕微鏡の操作方法と化学実験の基礎 | 11人 |
| 2 | 8月2日(水) | 身近な素材で科学工作・実験（物理分野） | 18人 |
| 3 | 8月22日(火) | ロボットプログラミング講座 | 10人 |

b 依頼型教員研修講座

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 |
|----|----------|------------------------------|------|
| 1 | 6月16日(金) | 大和市教育委員会教員研修「小学校理科の観察・実験の基礎」 | 18人 |

c 小学校教員養成課程学生対象講座（大学連携支援事業）

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 |
|----|---------|-------------------------------|------|
| 1 | 2月7日(水) | 鎌倉女子大学 午前（小学校理科の実験講座 生物分野） | 7人 |
| 2 | 2月7日(水) | 鎌倉女子大学 午後（小学校理科の実験講座 物理、地学分野） | 9人 |

d 社会体験研修受入

※令和5年度は受け入れなし

e インターンシップ

| 期 間 | 対 象 | 参加人数 |
|----------|----------------|------|
| 8月10日(木) | 大学生（8月10日～15日） | 2人 |
| ～15日(火) | 高校生（8月11日～13日） | 4人 |

ウ 科学活動情報発信事業

青少年の科学活動を促進、支援するための科学情報を提供した。

(7) 科学情報発信

科学支援課の事業の広報とあわせて、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会との連携により得た科学関係の催し物の情報や、天文関係の資料等をホームページで提供した。

ホームページアクセス回数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 計 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|
| 2,495 | 3,157 | 3,656 | 4,524 | 2,770 | 2,544 | 30,568 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | R4年度 (24,050) |
| 2,134 | 2,263 | 1,619 | 1,878 | 1,653 | 1,875 | |

(4) 科学相談

科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談を受け付けた。また科学体験機材の貸出や科学体験室を活用した研究等を支援した。

・26件57人

内訳：来館利用1件1人、電話7件7人、体験室貸出2件33人、メール16件16人

エ 先端科学連携体験事業

(7) 先端科学企業等体験会(カナラボ)

| 回数 | 実施日 | 内 容 | 参加人数 |
|----|----------|--|------|
| 1 | 12月9日(土) | 麻布大学「微量なタンパク濃度を測定してみよう～ELISAによるイヌの血清中に存在するタンパク濃度測定～」 | 9人 |
| 2 | 2月10日(土) | 桐蔭横浜大学「簡易法によるペロブスカイト太陽電池の作製体験」 | 5人 |
| 3 | 2月17日(土) | 神奈川工科大学「遺伝子を調べて犯人を捜せ」 | 7人 |

(4) 青少年のためのロボフェスタ2023兼子どもサイエンスフェスティバル横浜大会

(共催：子どもサイエンスフェスティバル実行委員会、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会、神奈川県教育委員会)

| 実施日 | 会 場 | 参加人数 |
|-----------|------------------------|--------|
| 11月23日(木) | 神奈川県立青少年センター(紅葉ヶ丘)(再掲) | 1,158人 |

(5) ホール等の運営

| 区分 | 事業名 | 概要 | 鑑賞(参加)対象 | 観客(参加者)数 |
|------------------|---------------------|--|----------|----------|
| ア 共催・後援事業 | | | | |
| | 共催事業 | 青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、共催することにより一層その成果を高めることができる事業を、共催者、後援者として実施する。 | 一般 | 12,818 人 |
| | 後援事業 | | 一般 | 501人 |
| イ ホール等の運営 | | | | |
| | ホール、多目的プラザ及び練習室の貸出し | 県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供する。 | 一般 | 38,918 人 |

以下の事業は、平成 30 年度より文化課へ移管し、実施した。

青少年や県民の舞台芸術活動への支援

児童文化活動支援として、人形劇などの児童文化活動を行っているグループの成果発表や相互交流事業を実施し、また、青少年の舞台芸術活動と県民の芸術文化の振興を図るため、優れた舞台芸術（演劇、舞踊等）の鑑賞事業及び演劇・創作舞踊の講習会、発表会等の創造活動事業、「舞台表現エンパワーメント・プロジェクト」によるアウトリーチや少人数対象のワークショップ事業を実施した（一部中止）。

さらに、青少年センターにおける舞台芸術機能の強化・充実を図るため、平成 30 年度から開始した以下の取組みを実施した。

- ・ マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して上演作品の質的向上を図る「マグカル劇場出演団体等の上演作品制作支援事業」を実施した。

また、伝統芸能等普及振興のため、歌舞伎鑑賞教室、人形浄瑠璃文楽、かながわ伝統文化こども歳時記を実施した。

その一方で、県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や練習場所を提供している。

| 区分 | 事業名 | 概要 | 鑑賞(参加)対象 | 観客(参加者)数 |
|-------------------------|--------------------------------|---|----------------|----------|
| ウ 青少年舞台芸術活動推進事業 | | | | |
| (7) 児童文化活動推進事業 | かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル) | 地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。 | 幼児・小学生、その保護者など | 364人 |
| (イ) 青少年舞台芸術等鑑賞事業 | 青少年芸術劇場 | 青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施。 | 青少年及び一般 | 477人 |
| (7) 演劇舞踊等創造活動事業 | 中・高等学校演劇発表会 | 中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施。 | 中学生 | 1,322人 |
| | | | 高校生 | 1,525人 |
| | 中学校創作劇発表会 | 中学校を対象に、創作劇の発表会を実施。 | 中学生 | 903人 |
| | 中・高等学校演劇講習会 | 中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。 | 中学生 | 629人 |
| | | | 高校生及び教員 | 483人 |
| | 青少年ダンス発表会 | 表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施。 | 中学生以上及び教員 | 1,881人 |
| | 青少年ダンス講習会 | 青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施。 | 中学生以上及び教員 | 275人 |
| (イ) 舞台表現エンパワーメント・プロジェクト | 演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」 | 中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施。 | 中学校の演劇部 | 268人 |
| | 青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス | 中高生向けの3つの先端的なワークショッププログラム(演出、舞台美術、ダンス振付)を実施することで、時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資した。 | 中学生、高校生 | ダンス30人 |
| | ダンスの心技体+創 | 高校ダンス部対象のストリートダンスのワークショップ(ダンス講習会と統合して実施) | 高校ダンス部 | — |

| 区分 | 事業名 | 概要 | 鑑賞(参加)対象 | 観客(参加者)数 |
|------------------------------|------------------------------|---|---------------------|-------------------------------|
| | (オ) 舞台芸術を活用した青少年活動支援事業 | 神奈川県青少年対象演劇鑑賞会において、情操豊かで健全な青少年の育成を図るため、無言劇により想像力を刺激する作品の鑑賞会を多目的プラザ(スタジオHIKARI)で実施した。 | 青少年、一般 | 324人 |
| エ マグネット・カルチャー推進事業 | | | | |
| (7) マグカルシアター | 紅葉坂舞台塾 | スズキ拓郎を中心とするチャイロイプリンが、広く一般から募った青少年にダンス、演技等に関する様々な分野を複合的にレッスンし、共に作品づくりに取り組む中から舞台芸術を学んでもらい、その成果を多目的プラザ(スタジオHIKARI)で発表した。 | 高校生～29歳以下の者 | 18人 |
| | 上記公演 | | 一般 | 240人 |
| | マグカルシアター | 演劇等の公演を行いたい個人・団体に、公演場所として多目的プラザ(スタジオHIKARI)を約1週間、施設・設備使用料を無料で提供することにより、有能な人材の発掘を目指した。 | 青少年、一般 | 5,425人 |
| | マグカル・ハイスクール演劇フェスタ | 「神奈川県高等学校演劇発表会」で最優秀賞など優れた成績を修めた高校演劇を上演し、広く県民に紹介することで、学校演劇の発展向上と演劇文化の振興に資した。 | 青少年、一般 | 204人 |
| オ 青少年舞台芸術活動推進事業(機能強化) | | | | |
| | (7) マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業 | マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。 | マグカルシアターに出演が決定した団体等 | 133団体 1,663人 |
| | ステップアップ公演事業 | マグカルシアター上演団体に代表される若手の舞台芸術団体のうち、将来的に鑑賞事業としてのクオリティに耐えられる作品を制作するステップアップのための公演の機会を提供するとともに、青少年が優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供した。 | 青少年、一般 | ステップアップ公演として相応しい団体がなかったため実施なし |
| カ 伝統芸能等普及振興事業 | | | | |
| (7) かながわ伝統芸能祭 | 歌舞伎鑑賞教室 | 文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。 | 青少年、一般 | 1,209人 |

| 区分 | 事業名 | 概 要 | 鑑賞(参加)対象 | 観客(参加者)数 |
|----|----------------|--|------------|----------|
| | 人形浄瑠璃文楽 | 文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。 | 青少年、一般 | 1,130人 |
| | かながわ伝統文化こども歳時記 | 地域の伝統文化に親しんでいただくことを目的に、子どもや親子を対象として体験型の企画を盛り込んだフェスティバル事業を実施した。 | 子ども、青少年、一般 | 555人 |

各事業の内容は次のとおりである。

ア 共催、後援事業

青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、青少年センターが共催、後援することにより、一層その成果を高めることができる次の事業を、共催者、後援者として実施した。

(7) 共催事業

| 実施日 | 事業名 | 主催者 | 観客 (参加者)数 |
|----------------------|---|---|--------------|
| 6月9日(金) ～10日(土) | 令和5年度 第1回教育委員会とフリースクール等による不登校相談会(※1) | 神奈川県学校・フリースクール等連携協議会 神奈川県教育委員会 | 164人 |
| 6月16日(金) ～17日(土) | 第61回神奈川県高等学校総合体育大会 第32回神奈川県高等学校ダンスコンクール | 神奈川県高等学校体育連盟 | 3,000人 |
| 7月17日(月) | 第209回定期演奏会 | 公益財団法人神奈川県青少年交響楽団 | 120人 |
| 7月28日(金) ～29日(土) | 舞台技術講習会 | 神奈川県高等学校文化連盟演劇専門部会、神奈川県高等学校演劇連盟 | 275人 |
| 8月2日(水) ～3日(木) | 日本舞踊に学ぶ“和”の作法 | 神奈川県国際文化観光局文化課 | 50人 |
| 9月1日(金) ～2日(土) | 令和5年度 不登校児童・生徒、高校中退者等のための不登校相談会・進路情報説明会(※1) | 神奈川県学校・フリースクール等連携協議会 神奈川県教育委員会 横浜子ども支援協議会 | 126人 |
| 9月9日(土) | フリ・フリ・フェスタ(※1) | フリ・フリ・フェスタ実行委員会 | 1,075人 |
| 9月22日(金) ～24日(日) | 第42回ROBO-ONE(※2) | 一般社団法人二足歩行ロボット協会 | 670人 |
| 10月7日(土) | 第62回神奈川県中学校連合音楽会 | 神奈川県小中音楽教育連盟、神奈川県公立中学校教育研究会音楽部会 | 1,243人 |
| 11月4日(土) ～5日(日) | 神奈川県高等学校総合文化祭 第34回高等学校理科部研究発表大会(※2) | 神奈川県高等学校文化連盟理科専門部会 | 109人 |
| 11月5日(日) | 2024 かながわの太鼓 | 神奈川県、神奈川県太鼓連盟 | 479人 |
| 11月24日(金) ～26日(日) | 第23回手づくり紙芝居コンクール | 紙芝居文化推進協議会 | 247人 |
| 11月25日(土) ～26日(日) | 第57回神奈川県名流邦舞祭 | 公益社団法人日本舞踊協会神奈川県支部 | 1,109人 |
| 2月3日(土) ～4日(日) | 第55回児童福祉施設あすなろ交歓会 第62回神奈川県児童福祉施設作品展 | 神奈川県児童福祉文化体育協会 | 600人 |

| 実施日 | 事業名 | 主催者 | 観客 (参加者)数 |
|----------------------|--------------------|-----------------------|--------------|
| 2月8日(木) ～11日(日) | 令和5年度神奈川県定通芸術祭 | 神奈川県高等学校定通教育振興会文化部 | 300人 |
| 2月20日(火) ～3月9日(土) | 紅葉ヶ丘の広場活性化事業 | 国際文化観光局文化課 | 350人 |
| 2月23日(金・祝) | 第51回相模人形芝居大会 | 相模人形芝居連合会 厚木市教育委員会 | 846人 |
| 2月26日(月) ～3月3日(日) | 2023年度神奈川県演劇連盟合同公演 | 神奈川県演劇連盟 | 558人 |
| 3月2日(土) ～3日(日) | かながわ能楽ワークショップ | 神奈川県、公益財団法人鎌倉能舞台 | 67人 |
| 3月24日(日) ～29日(金) | 2024 関東中学校演劇コンクール | 関東中学校演劇研究協議会 | 1,430人 |

※1：青少年サポート課関連事業 ※2：科学部関連事業

(イ) 後援事業

| 実施日 | 事業名 | 主催者 | 観客 (参加者)数 |
|----------------------|---------------|---------------------|--------------|
| 4月9日(日) ～3月20日(水) | 青少年のための日本舞踊講座 | 公益社団法人日本舞踊協会、神奈川県支部 | 501人 |

イ ホール等の運営

県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供した。

利用者の状況（主催、共催事業を除く。）

（単位：人）

| 区分 | 演劇関係 | 舞踊関係 | 音楽関係 | 講演・式典等 | 計 |
|--------|-------|--------|-------|--------|--------|
| ホール | 3,469 | 13,855 | 6,089 | 9,190 | 32,603 |
| 多目的プラザ | 380 | 1,168 | 100 | 392 | 2,040 |
| 練習室 | 58 | 3,860 | 22 | 335 | 4,275 |
| 合計 | 3,907 | 18,883 | 6,211 | 9,917 | 38,918 |

以下の事業は、文化課へと移管され実施されている。

ウ 青少年舞台芸術活動推進事業

(7) 児童文化活動推進事業

児童の豊かな情操と想像力を育む事業を実施し、児童文化活動の促進を図った。

- ・ かながわ児童劇グループ交流会（かながわ人形劇フェスティバル）

地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 回数 | 観客 (参加者)数 |
|---------------------|--|-------------------|----|--------------|
| 2月24日(土) ～25日(日) | 第40回かながわ人形劇フェスティバル 人形劇「魔女のたまご」他6演目 出演：7団体 講師：月永 勉(デザインルーム美研主宰) 川尻 麻美夏(人形劇団プーク 俳優) 会場：青少年センター多目的プラザ (スタジオ HIKARI) | 幼児・小学生、その保護者など申込者 | 4回 | 364人 |

(イ) 青少年舞台芸術等鑑賞事業

青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、青少年芸術劇場を実施した(会場：紅葉坂ホール)。

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 観客 (参加者)数 |
|----------|--|---------|--------------|
| 7月23日(日) | 青少年センター開館60周年記念・紅葉坂ホールリニューアルオープン記念・第308回神奈川県青少年芸術劇場 合同会社KUNIO, Inc 『What's SAMBASO - 古典芸能の可能性』 | 青少年及び一般 | 477人 |

(ウ) 演劇舞踊等創造活動事業

青少年が日頃行っている芸術創造活動の成果を発表する場を提供するほか、創造活動を支援するための講習会を開催するとともに、演劇指導者を対象に、演劇を制作する過程で必要なノウハウを習得する機会を提供した。

a 中・高等学校演劇発表会

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 参加者数 |
|---------------------|---|-----|--------|
| 12月2日(土) 3日(日) | 第61回神奈川県中学校演劇発表会 出演：県内中学校14校 講師：井上 学(劇作家、演出家) 波田野淳紘(劇作家、演出家、劇団820製作所主宰) 古谷 泰三(県立神奈川総合高等学校総括教諭、同校演劇部顧問) 会場：紅葉坂ホール | 中学生 | 1,322人 |
| 11月18日(土) 19日(日) | 第62回神奈川県高等学校演劇発表会 出演：県内6地区代表13校 講師：郷田ほづみ(湘南テアトロ☆デラルテ主宰、演出家、音響監督) | 高校生 | 1,525人 |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | オノマリコ（劇作家） 高根 大輔（銚子市立銚子高等学校教諭） 会場：紅葉坂ホール | | |
|--|--|--|--|

b 中学校創作劇発表会

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 参加者数 |
|---------|---|-----|------|
| 8月4日(金) | 第18回神奈川県中学校創作劇発表会 出演：7校 講師：斉藤 俊雄（劇作家、久喜市部活動指導員） 坂本 鈴（劇作家） 会場：紅葉坂ホール | 中学生 | 903人 |

c 中・高等学校演劇講習会

中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 参加者数 |
|--------------------|---|-----|------|
| 8月5日(土) 6日(日) | 第59回神奈川県中学校演劇講習会 参加：42校 ダンス、即興、殺陣、グループ創作、朗読劇、脚本創作、大道具製作及び顧問相談コーナー（同内容を2日間で2回実施） 会場：県立青少年センター （紅葉坂ホール、多目的プラザ（スタジオHIKARI）、練習室等） | 中学生 | 629人 |
| 7月30日(日) 31日(月) | 第59回神奈川県高等学校演劇講習会 参加：53校 演技基礎、演技応用、ダンス、ミュージカル（2日間で4回実施） ステージング（2日間で2回実施） 会場：青少年センター （紅葉坂ホール、多目的プラザ（スタジオHIKARI）、練習室等） | 高校生 | 483人 |

d 青少年ダンス発表会

表現芸術の充実と向上を図ることを目的にダンス発表会を実施した。

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 参加者数 |
|----------|--|-----------|--------|
| 11月4日(土) | 第58回神奈川県青少年ダンス発表会 出演者：中・高等学校・大学等40校(団体) 会 場：紅葉坂ホール | 中学生以上及び教員 | 1,881人 |

e 青少年ダンス講習会

青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 参加者数 |
|-------------------|---|---------------|------|
| 8月9日(水) 10日(木) | 第49回神奈川県青少年ダンス講習会 内容：ストリートダンス (ヒップホップ、ハウス、クランプ) ブレイキン ジャズ 会場：紅葉坂ホール、多目的プラザ（スタジオHIKARI）、 練習室、研修室1, 2 | 中学生以上及 び教員 | 275人 |

c ダンスの心技体+創

ストリートダンスに取り組む高校生向けにジャズのワークショップを実施した。

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 参加者数 |
|-----|---------------|-----|------|
| | ダンス講習会に統合して実施 | 高校生 | — |

(f) 舞台芸術を活用した青少年活動支援事業

舞台芸術の創作を通じ、情操豊かで健全な青少年を育成するため、就学前児童や小学生を主な対象としつつ、中学生や高校生にも響く鑑賞会を実施した。

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 参加者数 |
|-----------------------------|--|------------|------|
| 5月12日(金) ～14日(日) 3回公演 | 神奈川県青少年対象演劇鑑賞会 カンパニーデラシネラ こども古典名作劇場「はだかの王様」 演出・出演 小野寺修二 会場：青少年センター多目的プラザ（スタジオ HIKARI） | 青少年、 一般 | 324人 |

(I) 舞台表現エンパワーメント・プロジェクト

これまでの中学生向けの講習会や発表会でのプログラムを補完するプログラムを、第一線で活躍する講師陣により開催した。一部プログラムをアウトリーチ（県域）で実施した。

a 演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」

中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。（高校生対象は実施せず）

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 場 所 | 対 象 | 参加者数 |
|-----------|--|------------|-------------|------|
| 12月16日(土) | 演劇部お助け講座（中学生対象） 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店 所属講師 | 横須賀市はまゆう会館 | 中学校の 演劇部 | 39人 |
| 1月20日(土) | 演劇部お助け講座（中学生対象） 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店 所属講師 | 桐光学園小学校体育館 | | 96人 |

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 場 所 | 対 象 | 参加者数 |
|----------|--|-----------|-----|------|
| 2月3日(土) | 演劇部お助け講座(中学生対象) 講師:特定非営利活動法人演劇百貨店 所属講師 | 厚木市立厚木中学校 | | 65人 |
| 3月10日(日) | 演劇部お助け講座(中学生対象) 講師:特定非営利活動法人演劇百貨店 所属講師 | 平塚市立江陽中学校 | | 68人 |

b 青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス

大人数の講習会の内容に飽き足りないやる気のある層を対象に、地域や時代のニーズに合わせた先端的なプログラムを実施した。

| 実施日 | 内容 ・ 講師等 | 対 象 | 参加者数 |
|---------------------|---|-----|------|
| 2月13日(火) ～15日(木) | 【ダンス編】 講師:平原慎太郎 (ダンサー、振付家、ダンスカンパニーOrganWorks主宰) 会場:紅葉坂ホール | 高校生 | 30人 |

エ マグネット・カルチャー推進事業

「若者がいつでも、自らの才能を発揮でき、有能な人材を発掘できる場」として、若者文化の開放区をめざすための事業を実施した。

(7) マグカルシアター

a 紅葉坂舞台塾

| 月 日 | ジャンル | 出演団体 | 演 目 | 公演(練習)回数 | 観客(参加者)数 |
|--------------------|------|---------------|-------------------------|----------|----------|
| 3月23日(土) 24日(日) | 演劇 | 紅葉坂舞台塾生 ほか | おどる小説『風博士』 『おかわりやさい』 | 4回 | 240人 |

b マグカルシアター

| 月 日 | ジャンル | 出演団体 | 演 目 | 公演数 | 観客数 |
|-----------------------|------|------------------------------|---|-----|------|
| 4月11日(火) ～16日(日) | ダンス | オータムプロダクション | 『The Musical Offering～ポリ ボディと幻声部のリチェルカ ーレ～』 | 4回 | 242人 |
| 4月18日(火) ～4月23日(日) | ダンス | PreDanceMusic(池ヶ谷 奏×藤村港平) | PreDanceMusic | 4回 | 121人 |
| 4月25日(火) ～4月30日(日) | 演劇 | 劇団スクランブル | Please just a minute | 6回 | 312人 |
| 5月2日(火) ～7日(日) | 演劇 | N ₂ | N ₂ Tab. 12-『光害 ワーク・イ ン・プログレス』 | 3回 | 7人 |
| 5月16日(火) | 演劇 | 劇団パレイド | 大切なもの | 8回 | 417人 |

| 月 日 | ジャンル | 出演団体 | 演 目 | 公演数 | 観客数 |
|-------------------------|------|---------------------|---|-----|------|
| ～21日(日) | | | ～ワンヌイミ～ | | |
| 5月23日(火) ～28日(日) | 演劇 | 演劇プロデュース『螺旋階段』 | 夢見る無職透明 | 4回 | 174人 |
| 5月30日(火) ～6月4日(日) | 演劇 | 劇団かに座 | 壊れた風景 | 4回 | 230人 |
| 6月20日(火) ～25日(日) | 演劇 | 趣向 | オノマリコフェス | 2回 | 422人 |
| 6月27日(火) ～7月2日(日) | 演劇 | スペースノットブランク | セイ | 5回 | 226人 |
| 7月4日(火) ～9日(日) | ダンス | Murasaki Penguin | Night Walk | 5回 | 131人 |
| 7月12日(火) ～16日(日) | ダンス | Arche | 52ヘルツのうた | 4回 | 205人 |
| 7月18日(火) ～23日(日) | ダンス | NPO法人LAND FES | スクランブル・ダンスプロジェクト「ROCKS」 | 1回 | 119人 |
| 8月15日(火) ～20日(日) | 演劇 | 完全右脳アルコロジー | アーキテクトμ | 6回 | 251人 |
| 8月29日(火) ～9月3日(日) | ダンス | BALA | 継接ぎの底 | 4回 | 180人 |
| 9月15日(火) ～19日(日) | 演劇 | Ranta Menka(n) | ゆうしちゃん死なないで | 3回 | 11人 |
| 9月26日(火) ～10月1日(日) | 演劇 | 劇団やぶさか | 夏の夜の夢 | 5回 | 313人 |
| 10月3日(火) ～8日(日) | 演劇 | 白昼夢 | 譚 I | 5回 | 111人 |
| 10月18日(水) ～22日(日) | 演劇 | 劇団天の河神社 | うたかたの旅人たちへ | 6回 | 202人 |
| 10月30日(月) ～11月3日(金) | 演劇 | 青年団リンク キュイ | キュイ短編集 非常に様々な健康の事情 | 3回 | 107人 |
| 11月7日(火) ～11日(土) | 演劇 | かるがも団地 | 静流、白むまで行け | 5回 | 397人 |
| 12月7日(木) ～10日(日) | ダンス | Eine Feige | 寒中髻女 (KANCHUGOZE) | 4回 | 158人 |
| 12月11日(月) ～17日(日) | ダンス | MWnoズ (短編副賞団体) | 人ぐらむ人 | 5回 | 140人 |
| 12月19日(火) ～12月24日(日) | 演劇 | チリアクターズ | ひめごとイエロー | 6回 | 235人 |
| 1月16日(火) ～21日(日) | ダンス | DANCE PJ REVO | DANCE PJ REVO EXPERIMENT HIP PERFORMANCE | 6回 | 186人 |
| 2月6日(火) | 演劇 | theater045syndicate | 短編演劇集 | 5回 | 312人 |

| 月 日 | ジャンル | 出演団体 | 演 目 | 公演数 | 観客数 |
|---------------------|------|----------------------|------------|-----|------|
| ～11日(日) | | | 「シンジケイテッド」 | | |
| 3月12日(火) ～17日(日) | 演劇 | 演劇企画集団Y ³ | サカトセ | 10回 | 228人 |

c マグカル・ハイスクール演劇フェスタ

| 実施日 | ジャンル | 出演団体 | 出演校 (団体)数 | 観客数 |
|---------------------|------|----------------|--------------|--------|
| 3月26日(火) ～31日(日) | 高校演劇 | 横浜市高等学校春季演劇発表会 | 30校(団体) | 1,191人 |

オ 青少年舞台芸術活動推進事業（機能強化）

舞台づくり機会の充実を図るため、青少年センターの施設機能を活かした「マグカルシアター」の出演団体への支援事業を行うとともに、青少年に優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供した。

(7) マグカルマグネット・カルチャー推進強化事業

a マグカル劇場出演団体等の上演作品制作支援事業

| 実施日 | 内 容 等 | 支援内容 | 累計 |
|-----|--|------------------------|-----------------|
| 通年 | マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図る。 | 研修室の稽古場利用団体数 及び利用人数 | 133団体 1,365人 |
| | | 演劇資料室の夜間利用者数 | 298人 |

b ステップアップ公演事業（会場：多目的プラザ（スタジオHIKARI））

| 実施日 | 内 容 等 | 演 目 | 観客数 |
|------|--|---------------------------|-----|
| 実施なし | マグカルシアター上演団体に代表される若手の舞台芸術団体のうち、将来的に鑑賞事業としてのクオリティに耐えられる作品を制作するステップアップのための公演の機会を提供するとともに、青少年が優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供する。 | ステップアップ公演として相応しい団体がなかったため | — |

カ 伝統芸能等普及振興事業

我が国を代表する古典芸能や、地域で継承されている民俗芸能等を広く県民に紹介することにより、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への気運を醸成するため、多彩な伝統芸能の上演を行った。

(7) かながわ伝統芸能祭

a 歌舞伎鑑賞教室

| 実施日 | 内 容 等 | 対 象 | 観客数 |
|-----------------------------|---|------------|--------|
| 7月26日(水) 27日(木) 計4回公演 | 演目：解説「歌舞伎のみかた」 双蝶々曲輪日記ー引窓ー 出演者：中村芝翫、市川高麗蔵、中村錦之助 ほか 会場：紅葉坂ホール | 青少年、 一般 | 1,209人 |

b 人形浄瑠璃文楽

| 実施日 | 内 容 等 | 対 象 | 観客数 |
|--------------------|--|------------|--------|
| 10月15日(日) 計2回公演 | 演目： 【昼の部】 解説（あらすじ） 「義経千本桜」椎の木の段／すしやの段 【夜の部】 解説（あらすじ） 「桂川連理柵」六角堂の段／帯屋の段／道行臈の桂川 会場：紅葉坂ホール | 青少年、 一般 | 1,130人 |

c かながわ伝統文化こども歳時記

| 実施日 | 出演団体等 | 対 象 | 観客数 |
|---|--|--------------------|--------|
| メインプログラム 2月18日(日) 事前WS(日舞・ 講談) 1月14日(日)、 2月12日(月・ 祝)、2月18日 (日) | 【紅葉坂ホール会場】 ① 子どもたちが活躍する民俗芸能の紹介(出演：いなりっこ、横須賀の虎踊り) ② 相模のささら踊りの普及啓発事業3年目。観客も参加できる企画を実施(出演：秦野市と厚木市のささら踊り保存会、CHAiroiPLIN) ③ かながわの盆踊りのルーツ～注目！相模ささら踊り！(足柄ささら踊保存会、チャイロイプリン) 【多目的プラザ(スタジオHIKARI)会場】 日本舞踊と講談のワークショップと成果発表会 ※事前に2回WSを実施。講師によるミニ公演も含む(講師：泉秀樹、泉徳保、宝井琴鶴) 【紅葉坂ホール ホワイエ・交流スペース・広場】 伝統文化体験コーナー(「片瀬こま回し体験」、「スーパー竹とんぼ作成・飛ばし体験」、「『柱を立てる』年中行事～『やってみる』から考える」) | 子ども、 青少年、 一般 | 延 555人 |